

2009年度アジア政経学会全国大会のご案内 2009年10月10日（土）・11日（日）

### アジア政経学会会員の皆様へ

会員各位におかれましては、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、予てより、ご案内の通り、2009年度全国大会が法政大学市ヶ谷キャンパスで開催されます。

本年度全国大会では、若手研究者を中心とした合計33本の公募報告からなる自由論題分科会、合計12セッション、中越関係、世界最大の民主国、インドの総選挙、日中関係あるいは中国における政治参加をテーマとした特別分科会、4セッションのほか、建国60年を迎えた中国の政治の原点、中核としての中国共産党を俎上に載せた国際シンポジウム等が予定されています。このほか、新型肺炎（重症急性呼吸器症候群＝SARS）、鳥インフルエンザ、新型インフルエンザなどの蔓延とそれらに対する各国・国際社会の対応を念頭に置きつつ、グローバル時代の感染症の発生・拡大メカニズムとそのコントロールについて、アジア諸国の政治・経済・社会システムと結びつけながら分析する共通論題《グローバル時代の感染症とアジア》も企画されております。

東京都内の比較的交通便利な場所での開催でもあり、ご多忙の折かとは存じますが、万障お繰り合わせの上、ぜひこの充実したプログラムにご参加いただきたく、市ヶ谷の地にお運び下さいますようご案内申し上げます

日程：2009年10月10日(土)・11日(日)

会場：法政大学市ヶ谷キャンパス(外濠校舎)

〒102-8160 東京都千代田区富士見2-17-1

JR線・地下鉄線の市ヶ谷駅と飯田橋駅の間に位置しています。外濠公園の緑と靖国神社の杜に囲まれて、ひととき高くそびえる「ボアソナード・タワー」。このインテリジェント・タワーがシンボルの都心型キャンパスです。神田古書店街やスポーツ用品店街、日本武道館、後樂園、東京ドームなどは徒歩圏内。新宿や渋谷をはじめとする主要エリアへも電車で10分ほど。交通アクセスも抜群です。

主催：アジア政経学会

#### ■託児室のご案内

◎小さな子供さんを連れて参加する会員のために、例年通り、託児室を設置します。託児室の利用を希望される方は、「託児室設置のお知らせ」をご覧ください、10月2日までに所定の申込書にご記入の上、FAXにてお申し込みください。

## 2009年度全国大会プログラム

全体予定

10月10日 (土)	09:30~	受付開始	
	10:00~12:30	自由論題 1~6	特別分科会1:「中越関係の現状と展望～二回廊一経済圏を中心にして」
	12:30~14:00	評議員会・理事会	昼食 休憩
	14:00~14:30	会員総会	
	14:30~17:45	特別分科会2:「2009年インド総選挙:『世界最大の民主主義』の行方」	国際セッション:「中国共産党の再評価:深まる闇それとも新たな曙光? Reassessing CCP; deepening dusk or breaking dawn?」
	18:00~20:30	懇親会	
10月11日 (日)	09:30~	受付開始	
	10:00~12:30	自由論題 7~12	特別分科会3:「日中関係のプロセスとメカニズムー1980年代から」
	12:30~14:00	編集委員会	昼食 休憩
	14:00~16:30	共通論題:「グローバル時代の感染症とアジア」	特別分科会4:「中国における政治参加ー農村と人権」

## <第1日目> 10月10日 (土)

09:30~ 登録受付開始

10:00~12:30 自由論題分科会 (1~6)、特別分科会 1

### 自由論題1 <アジアの農村開発> (S504)

司会; 今岡日出紀 (島根県立大学)

- \* 高安雄一 (筑波大学) 「韓国における農外所得源開発政策の効果についてー農工団地整備事業を中心にー」資料
- \* 宮田敏之 (東京外国語大学) 「国際米価高騰とタイ米輸出: 中国市場向けタイ産香り米ジャスミン・ライスの輸出急減を中心に」
- \* 村松優里香 (東北大学) 「ハウスホールド・モデルによる農家経済分析ージョグジャカルタ農村世帯の事例研究ー」

### 自由論題2 <GMSの分業と統合> (S601)

司会; 小笠原高雪 (山梨学院大学)

- \* 春日尚雄 (亜細亜大学院) 「GMS経済回廊によるロジスティクスへの影響ー域内における国際分業と物流の改善ー」
  - \* 秋場 理 (早稲田大学院) 「アセアンをめぐる地域統合とメコン河流域諸国における経済協力」
- 討論者: 吉野文雄 (拓殖大学)

### 自由論題3 <アジアの企業経営戦略> (S603)

司会; 神戸大学 (佐藤隆広)

- \* 上池あつ子 (龍谷大学) 「インド製薬産業の動向ー企業分析を中心に」
- \* 奥田英信・ライ・ティ・フーン・ニユン (一橋大学) 「ベトナム上場企業の資金調達構造の決定要因: 政府支配の影響とハノイ・ホーチミン証券取引所の違い」資料
- \* 張 艶 (福岡女子大学) 「アジアの株式市場と構造変化」

### 自由論題4 <中国経済分析: 地域所得二極化とFDI立地条件> (58年館870)

司会; 中兼和津次 (青山学院大学)

- \* 星野真 (北海道大学) 「中国における地域所得格差と二極化, 1978-2008: 人口センサスと1%抽出調査のデータを用いて」
- \* 竹 康至・呉 辰君 (一橋大学) 「国における外国直接投資の立地決定要因の変化: 省別データでみるWTO加盟前後の要因変化」

### 自由論題5 <中国における都市民衆運動: ボイコットから維権まで> (58年館878B)

司会; 西村茂雄 (放送大学)

- \* 呉 茂松 (慶應義塾大学) 「中国タクシー業界における運転手たちの「維権」運動: 諸維権事例に対する経験的な分析ー」
- \* 衛藤安奈 (慶應義塾大学) 「20世紀初頭の中国都市における民衆運動の再検討: 漢口を事例に」

\* 武玉江 (立教大学) 「中国都市部における「維権行動」の一考察: 「住民運動」という視点からのアプローチ」

#### 自由論題6 <アジアの社会階層> (S603)

司会; 木曾順子 (フェリス学院大学)

\* 佐藤慶子 (京都大学) 「南インド農村における階層構造と離村プロセス - タミルナドゥ州マドゥライ地域の事例から -」

\* 安東みさを (ノートルダム清心女子大学) 「日本の地方都市における中国人社会の実態への一考察 - 岡山市を中心として -」

\* 奥島美夏 (神田外国語大学) 「インドネシア人看護師・介護福祉士候補の就労環境~研修制度化するEPAスキームの検討」

\* 村上 明子 (北海道大学) 「イランにおける女性労働者の職務意識とライフコース - テヘラン市・ホワイトカラー層の事例分析 -」

#### 10:00~13:00 特別分科会1; 「中越関係の現状と展望~二回廊-経済圏を中心にして」 (58年館879)

司会・趣旨説明; 栗原浩英 (東京外国語大学)

報告1: Do Tien Sam (ベトナム社会科学院中国研究所長) 「1991年両国関係正常化から現在に至るベトナム中国関係とその展望」

報告2: Luong Dang Ninh (ランソン省科学技術局長) 「「南寧-ランソン-ハノイ-ハイフォン-クアンニン」経済回廊の持続的発展における科学・技術の役割」

報告3: 畢世鴻 (雲南大学, 日本貿易振興機構・アジア経済研究所海外客員研究員) 「GMS南北回廊の現状と展望」

<使用言語: ベトナム語・日本語>

#### 12:30~14:00 昼食 休憩

評議員会・理事会 (80年館7階会議室)

#### 14:00~14:30 会員総会 (薩埵ホール)

#### 14:30~17:30 特別分科会2; 「2009年インド総選挙: 『世界最大の民主主義』の行方」 (58年館879)

司会: 絵所秀紀 (法政大学)

報告者1: 三輪博樹 (中央大学) 「第15回下院選挙とインドの民主主義」

報告者2: 近藤正規 (国際基督教大学) 「総選挙と経済自由化への期待」

報告者3: 竹中千春 (立教大学) 「総選挙とインド外交」

討論者1: 堀本武功 (尚美学園大学)

討論者2: 中溝和弥 (京都大学)

#### 14:30~17:30 国際セッション; 「中国共産党の再評価; 深まる闇、あるいは新たな曙光?

Reassessing CCP; deepening dusk or breaking dawn?» (S405)

<共催: 人間文化研究機構 現代中国地域研究 拠点連携プログラム>

<Under joint Sponsorship of NIHU Program: Contemporary China Area Studies>

改革開放政策の進展に伴い、イデオロギーの失効、利害構造の多様化等による内外の環境変化は、中国政治の中核的存在、中国共産党に組織的危機をもたらしているようにも見受けられるが、党員数は順調に増加し、世界最大の政党組織にして、中国最大の利害集団たる位置に変化はない。少なくともこの環境変化に直面して、この党は如何なる組織的対応を図ろうとしているのか。そもそもこの党組織に参加することの意味は奈辺にあるのか、果たして、この組織および同組織メンバーはどのような自己認識を持っているのか。本セッションでは、各領域における党の存在を捉え返すことにより、中国政治の原点を捉え返す。

趣旨説明; 菱田雅晴 (法政大学)

司会; 毛里和子 (早稲田大学)

報告1; 白智立 (北京大学)・小嶋華津子 (筑波大学) 「エリート層における党の存在」

報告2；景躍進（中国人民大学）「Transformation, Co-optation, and penetration: a comparison of three organizational strategies adopted by CCP in coping with challenges from local governance」

報告3；陸麗君（華東理工大学）・南裕子（一橋大学）・中岡まり（常磐大学）「基層黨員と大衆における党の存在—上海市民調査から—」

報告4；白南生（中国人民大学）「経済領域における党の存在」

討論者；唐亮（早稲田大学）

<使用言語；中国語、日本語>

**18:00~20:00 懇親会**（外濠校舎 薩埵ホール）

## <第2日目> 10月11日（日）

**09:30~ 登録受付開始**（外濠校舎1階ホール）

**10:00~12:30 自由論題分科会（7~12）、特別分科会3**

### 自由論題7 <アジアの政治選択>（S401）

司会；鈴木佑司（法政大学）

\* 鈴木絢女（日本学術振興会）「マレーシア政治体制論の再構築—政治的権利を制限する法の成立と運用の研究」

\* 今村祥子（東京大学）「独占されない暴力—民主化後のインドネシア」

### 自由論題8 <中国近現代史：指導権の掌握、確立、失脚>（S402）

司会；姫田光義（中央大学）

\* 中井明（北京市首都師範大学）「建国初期華北農村の土地改革と『村の土地』——河北省昌平県旧区と北京市新区の間の土地の処理状況」

\* 杉田徹（法政大学）「彭徳懐失脚と外国内通批判について」

\* 杜崎群傑（中央大学）「建国期中国人民政治協商会議の研究—中国共産党の指導権確立過程を中心に—」

### 自由論題9 <ヒトと民族；吉林省ケース>（S403）

司会；大島一二（青島農業大学）

\* 韓美蘭（関西学院大学）「中国における労働力送り出し地域の民族別移動とその決定要因—吉林省の漢民族と少数民族の場合—」

\* 張馨元（東京大学）「中国のトウモロコシ市場における「經紀人」の役割——吉林省を事例に」

### 自由論題10 <国際協力：日本とアジア>（S404）

司会；後藤一美（法政大学）

\* 佐藤考一（桜美林大学）「海賊問題と国際社会の対応—東南アジアとソマリアの海賊問題から見た非伝統的安全保障問題をめぐる国際協力の課題と展望」資料

\* 柏木志保（日本学術振興会）「持続可能な社会構築に向けた日本の途上国に対する環境技術移転の現状と諸問題—フィリピンにおける廃棄物処理プロジェクトを事例として」

\* Asra Virgianita（明治学院大学）「インドネシアの民主化に対する国際的な支援—日本・米国・欧州連合との比較」

### 自由論題11 <台湾：危機と発展>（S501）

司会；若林正文（東京大学）

\* 山口信治（慶應義塾大学）「社会主義工業化の加速と第一次台湾海峡危機」

\* 石川誠人（立教大学）「国府の「大陸反攻」と台湾の経済発展の相克—「十九項目財政・経済改革措置」における軍事支出抑制の明文化に至る過程」

\* 田上智宜（日本学術振興会）「民進党政権期の婚姻移民をめぐると多文化主義政治」

### 自由論題12 <アジア地域の課題：開放・ネットワーク・秩序>（S502）

司会；大橋英夫（専修大学）

\* 岸田絵美（神戸大学）「EPA締結交渉における合意形成過程と時間の比較分析」

\* 森一道（New Asian Invesco (HK) Ltd.）「華南政策」の形成と展望—反グローバル化の橋

頭堡として～」

\*毛利亜樹（海洋政策研究財団）「新たなアジア太平洋安全保障秩序への胎動：日・米・中関係を中心に」

### 10:00～12:30 特別分科会3；「日中関係のプロセスとメカニズム—1980年代から」（S406）

今日、中国は世界の外交舞台における“主役”の一つといえるまでの座に上り詰めた。その今日に至るプロセスにおいて、日中関係は「蜜月期」、「倦怠期」、「険悪期」…等を辿ったが、他ならぬ日本外交自身は現在一大転換期に差し掛かっているとも言える。こうした背景から、今日に至る日中関係の展開プロセスを考察し、その関係メカニズムを探求する。

司会：高木誠一郎（青山学院大学）

報告1；益尾知佐子（九州大学）「中国の『対外開放』戦略と日本——1978年、対日関係の国内的インプリケーション」

報告2；三船恵美（駒澤大学）「2001～2009年の日中関係」

報告3；趙宏偉（法政大学）「中華振興の外交と日中のわたりあい—東アジア地域統合プロセスの考察」

討論者；岩下明裕（北海道大学）

### 12:30～14:00 昼食 休憩

編集委員会（80年館7階会議室）

### 14:00～16:30 共通論題、特別分科会4

#### 14:00～16:30 共通論題：『グローバル時代の感染症とアジア』（S406）

近年アジアを揺るがしたSARS、鳥インフルエンザ、昨年来の新型インフルエンザなどの蔓延とそれらに対する各国・国際社会の対応を念頭に置きつつ、グローバル時代の感染症の発生・拡大メカニズムとそのコントロールについて、アジア（諸国）の政治・経済・社会システムと結びつけながら分析する。グローバルに展開する感染症に対しては、医学を中心とした自然科学的観点からだけでなく、さまざまな社会科学分野の視点に立った分析と対応が求められる。本パネルでは、歴史学、政治学、医学・公衆衛生学の各分野から感染症問題に取り組んできた専門家を招き、アジアの感染症を取り巻く諸問題を多角的に分析するとともに、パンデミック対策や生物災害危機管理に向けた学際的なアプローチの可能性を探る。

司会 田村慶子（北九州市立大学）

報告者

飯島 渉（青山学院大学文学部）：「感染症と国際秩序」

吉川みな子（京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科）：「東南アジアで越境する新興・再興感染症への政府の「介入」—シンガポール共和国の対策を事例として—」

遠藤弘良（東京女子医科大学国際環境・熱帯医学講座、元WHO感染症対策・予防・撲滅部長）：「グローバルな感染症の現状とパンデミック対策の動向」

討論者

門司和彦（総合地球環境学研究所・「熱帯アジアの環境変化と感染症」プロジェクトリーダー）：人類生態学・熱帯公衆衛生学の立場から

鬼丸武士（政策研究大学院大学）：非伝統的安全保障研究の立場から

### 14:00～16:30 特別分科会4：「中国における政治参加——農村と人権」（S407）

司会 中兼和津次（青山学院大学）

報告1 巖善平（桃山学院大学）「農村基層組織の構造と機能」

報告2 田原史起（東京大学）「中国農民の公共参加と社会関係資本」

報告3 阿古智子（早稲田大学）「中国のエイズ問題をめぐる官民の攻防～都市・農村の断裂を繋ぐ政治参加の可能性を探る～」

討論 宇野和夫（早稲田大学）  
重富真一（アジア経済研究所）

閉会

法政大学アジア政経学会全国大会実行委員会  
実行委員長：鈴木佑司  
事務局：菱田雅晴

<大会会場の所在地・連絡先>

法政大学市ヶ谷キャンパス

〒102-8160 東京都千代田区富士見2-17-1

本大会に関するお問い合わせ等は、下記アドレス宛電子メールにてお願いいたします。

法政大学JAAS2009実行委員会

2008年度アジア政経学会全国大会プログラム 2008年10月11日（土）・12日（日）

## アジア政経学会会員の皆様へ

会員各位におかれましては、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。

さて2008年度全国大会は、港が間近に見える、昨年オープンしたばかりの神戸学院大学ポートアイランドキャンパスで開催する運びとなりました。アジアに開かれた都市・神戸にふさわしく、海外からスピーカーをお招きし、「グローバル・チャイナ：移動する人々の動かす中国」と題しました国際シンポジウムを開催いたします。このほか、アジア諸国の自然災害ならびにインドシナの経済をテーマとした共通論題、若手研究者を中心とした自由論題報告も用意されております。ご多忙の折かとは存じますが、万障お繰り合わせの上、ぜひ秋の神戸に足をお運び下さい。

メールアドレスを登録しておられる会員の皆様へ、今年度全国大会の開催通知を配信いたしますが、その通知は学会から皆様への正式な開催通知となります。ただし電子メールを使用されていない会員やメールアドレスを登録されていない会員、アドレスの変更により配信不能となった会員、あるいは紙媒体による通知が必要であると申し出になった会員には、別途郵送申し上げております。その旨を是非ご了解いただき、メールアドレスや郵送住所を変更された場合には、速やかに学会事務局までお届けいただきますようお願い致します。

日程：2008年10月11日(土)・12日(日)

会場：神戸学院大学ポートアイランドキャンパス(神戸市中央区港島1-1-3)B号館

JR「三ノ宮」駅、阪急・阪神・地下鉄「三宮」駅より、神戸新交通ポートライナー「市民病院前」駅下車。西へ徒歩約6分。

主催：アジア政経学会

### 10月11日(土)

9:30 受付開始(B号館2階エレベーターホール前)

10:00～12:30 自由論題・特別分科会(I)

12:30～14:00 評議員会・理事会

14:00～14:30 総会(B203教室)

14:30～17:45 国際シンポジウム(B203教室)

18:00～20:00 懇親会(カフェテリア・プレス)

### 10月12日(日)

9:30 受付開始

10:00～13:00 共通論題

13:00～14:00 編集委員会

14:00～16:30 自由論題・特別分科会(II)

◎小さい子供さんを連れて参加する会員のために、託児室を設置します。ご利用希望者は、「託児室設置のお知らせ」をご覧ください、10月3日までに所定の申込書にご記入の上、FAXにてお申し込みください。

## アジア政経学会2008年度 全国大会プログラム

### 10月11日(土)

#### 自由論題・特別分科会(I) 10:00～12:30

<特別分科会> 『ラオスにおける農村信用組合－その勃興、発展とインパクト』

司会:三重野文晴(神戸大学)

報告1.大野昭彦(青山学院大学)

「信用組合の展開－タイからラオスへ」

報告2.Chansathit Chalenunsinh(神戸大学大学院博士後期課程)・三重野文晴(神戸大学)

“Village Saving Group in Laos: Operational Approach and Cost Structure”

報告3.藤田幸一(京都大学)・Phouphet Kyophilanvong(ラオス国立大学)

「ラオス農村信用組合と農村金融市場－1つの村の事例より」

### <自由論題1> 『アジア諸国の金融政策』

司会:佐藤隆広(神戸大学)

報告1:久保彰宏(大阪市立大学)

The US Tech Pulse, stock prices, and exchange rate dynamics: Evidence from Asian developing countries

報告2:張艶(福岡女子大学)

「アジア諸国とアメリカの株価連関」

報告3:齊中凌(慶應義塾大学)

「中国の準備預金制度とその金融政策上の役割」

### <自由論題2> 『中国の対外開放と企業』

司会: 佐々木信彰 (大阪市立大学)

報告1:劉曙麗(早稲田大学大学院博士後期課程)

「中国に進出する日本、韓国、台湾企業の立地決定要因の経済分析と比較」

報告2:ハスビリギ(一橋大学大学院博士後期課程)・竹康至(一橋大学大学院博士後期課程)

「中国上場企業の投資行動－非金融業における政府支配の影響分析－」

報告3:伊藤博(東京大学大学院博士前期課程)

「中国保険業における対外開放政策の展開」

### <自由論題3> 『東南アジアの政治経済』

司会:田村慶子(北九州市立大学)

報告1:高木佑輔(日本学術振興会特別研究員)

「政党システムと冷戦の国内化、1946-1948年－フィリピンにおける二大政党間の対立と協調－」

報告2:渡邊周央(同志社女子大学)、田中勝也(滋賀大学)

「タイ国における特許行政の現状と課題について」

報告3:勝間田 弘(ブリストル大学)

「ASEAN改革と東アジア共同体の限界」

### <自由論題4> 『台湾の政治経済』

司会:松本充豊(長崎外国語大学)

報告1:星純子(東京大学大学院博士後期課程)

「コミュニティ運動の政治社会学－現代台湾の社会運動と「社区総体營造」政策－」

報告2:田上智宜(日本学術振興会特別研究員)

「台湾客家運動の社会的位置付けと意義」

報告3:赤羽淳(三菱総合研究所)

「台湾TFT-LCD企業の資金調達メカニズム－友達光電(AUO)の事例分析を通じて－」

### <自由論題5> 『中国の政治と外交』

司会:西村成雄(放送大学)

報告1:鈴木隆(平和・安全保障研究所)

「中国共産党の支配と「民主」－「新社会階層」への政治的アプローチを中心として－」

報告2:永井隆雄(九州大学大学院博士後期課程)・徐亜文(広島国際学院大学)

「中国地方政府における人事改革－公開選抜を中心に－」

報告3:渡辺直土(大阪外国語大学大学院修了)

「胡錦濤政権の政治思想」

報告4:家永真幸(日本学術振興会特別研究員)

「中国における「パンダ外交」の形成(1928-1949)」

### <自由論題6> 『アジアの農村社会と経済』

司会:巖善平(桃山学院大学)

報告1:董彪(東京農業大学大学院博士後期課程)

「中国東北の朝鮮族多住農村の農地集積と農地利用における変化」



報告2: 吳青姫 (立命館アジア太平洋大学)

「新型農村合作医療保険制度に関する実証分析－貧困層への影響を中心として－」

報告3: 佐藤奈穂(京都大学大学院博士後期課程)

「カンボジア農村における子の世帯間移動－親族ネットワークの互助機能－」(図・表)

**評議員会・理事会 12:30～14:00**

**総会 14:00～14:30 (B203教室)**

**国際シンポジウム 14:30～17:45**

『グローバル・チャイナ－移動する人々の動かす中国－』(B203教室)

司会: 竹中千春(立教大学)

報告1: 園田茂人(早稲田大学)

「中国社会における流動性の高まりとその国内／国際的インパクト」

報告2: 周敏(カリフォルニア大学ロサンゼルス校)

「華人の国際移民についての歴史的回顧と社会学的分析」

報告3: 王春光(中国社会科学院社会学研究所)

「制度と“機会所有権”－中国の農村流動人口の都市への社会流動についての考察－」

報告4: 濱下武志(龍谷大学)

「Chineseの国際移動と国際秩序－歴史・現在・将来－」

討論者: 毛里和子(早稲田大学)

**懇親会 18:00～20:00(カフェテリア・プレス)**

**10月12日(日)**

**共通論題 10:00～13:00**

**<共通論題1> 『アジアにおける自然災害と政治経済変動』(B203教室)**

司会: 山本博之(京都大学)

報告1: 西 芳実(東京大学)

「インドネシア・スマトラ沖地震津波－紛争下の人道支援と災害対応－」

報告2: 岡本郁子(アジア経済研究所)

「ミャンマー・サイクロン災害－政治化された災害と不信の連鎖－」

報告3: 田中 修(財務省財務総合政策研究所)

「中国・四川大震災－その政治・経済政策への影響－」

討論者: 牧 紀男(京都大学)、地主敏樹(神戸大学)

**<共通論題2> 『インドシナの経済』**

司会: 駿河輝和(神戸大学)

趣旨説明: 三重野文晴(神戸大学)

報告1: 石田正美(アジア経済研究所)

「大メコン圏経済協力と経済回廊の開発」

報告2: 工藤年博 (アジア経済研究所)

「メコン地域における国境経済圏の可能性－低開発国の新たな発展戦略－」

報告3: 廣畑伸雄 (山口大学)

「インドシナの経済開発と日本の関わり－日系企業と国際協力の貢献－」

報告4: 金子由芳(神戸大学)

「インドシナ諸国の経済法制－改革動向の点検と法整備支援の課題－」

**編集委員会 13:00～14:00**

**特別分科会・自由論題(Ⅱ) 14:00～16:30**

**<特別分科会> 『アジアの人材市場と人的資源管理』**

(神戸学院大学東アジア産業研究センター公開セミナー)

司会: 竹治康公(神戸学院大学)

報告1: 西野史子(一橋大学)

「グローバル時代の日本の労働市場－若年非正社員を中心に－」

報告2: 中村恵(神戸学院大学)

「タイ及びベトナム日系企業における技能形成の実態」

報告3:日高謙一(神戸学院大学)

「上海市内に勤める中国人の転職行動と組織間キャリア形成に関する考察」

討論者：伊藤正一(関西学院大学)

### <自由論題1>『中国の政治経済』

司会:上原一慶(大阪商業大学)

報告1:呉茂松(慶應義塾大学大学院博士後期課程)

「中国都市部における家屋所有権者たちの「維権」行為－深セン市、北京市、上海市の事例を手がかりに－」

報告2:吉富拓人(横浜国立大学大学院研究生)

「中国都市部再開発における立退き世帯の経済状況変化」

報告3:金紅実(京都大学大学院博士後期課程)

「中国の地方環境政策の執行能力体制及びその問題点」

### <自由論題2>『アジアの域内経済統合とFTA』

司会：末廣昭(東京大学)

報告1:金ゼンマ(一橋大学大学院COE研究員)

「日本メキシコFTAをめぐる国内政治プロセス－農業関係団体の「内部調整」を中心に－」

報告2:久我由美(九州大学大学院博士後期課程)

「中国-ASEAN自由貿易協定(CAFTA)と投資政策－FTAの推進力としての「走出去」政策－」

報告3:宮島良明(東京大学)

「東アジア地域の新しい貿易構造－中国の台頭と域内貿易の拡大－」

### <自由論題3>『東アジア近現代史』

司会：高橋伸夫(慶應義塾大学)

報告1:島田美和(大阪大学非常勤講師)

「1930年代前半期、内モンゴル西部地域における中央と地方の関係－綏境蒙政会の成立をめぐる－」

報告2:角崎信也(慶應義塾大学大学院博士課程)

「戦時動員と政権建設－国共内戦期中国東北地域における農村統治の再編」

報告3:黄斌(早稲田大学大学院博士後期課程)

「梁啓超によるナショナリズムの受容とネーション像の模索－「中華民族」の出自に関する一考察－」

### <自由論題4>『アジア諸国の対外援助政策』

司会：高原明生(東京大学)

報告1:渡辺紫乃(日本国際問題研究所)

「中国の対外援助政策」

報告2:金孝淑(南山大学大学院博士後期課程)

「韓国のODA政策－援助行政の影響を中心に－」

報告3:David Potter(南山大学)

「アジア版国際援助モデルがあるか」

### <自由論題5>『南アジアの政治経済』

司会:藤田幸一(京都大学)

報告1:坂田大輔(横浜国立大学大学院博士後期課程)

「インド労働市場における働く貧困層の形成に関する統計的パターン分析－NSS雇用失業調査のミクロデータから－」

報告2:今藤綾子(筑波大学大学院博士後期課程)

「インドにおける出国管理政策の現状－ECRカテゴリーを対象とした規制緩和とエンパワーメント－」

報告3:海野朝子(群馬県立女子大学)

「市場経済移行期のミャンマーの協同組合」

---

神戸学院大学アジア政経学会全国大会実行委員会

実行委員長：梶谷懐

実行委員：竹治公康 中村恵 日高謙一

<大会会場の所在地・連絡先>

神戸学院大学ポートアイランドキャンパス

651-8586 神戸市中央区港島1-1-3

電話（代表）：078-974-1551（大会当日のご連絡はお控え下さい）FAX：078-974-5689

※学会に関するお問い合わせには、極力メールをお使い下さい。

大会専用アドレス: jaas-zenkoku\*npo-ochanomizu.org

梶谷懐研究室: kaikaji1970@gmail.com

（スパムメール対策のため@を\*に変更して表示しておりますのでご注意ください）

## 2007年度アジア政経学会全国大会プログラム

アジア政経学会会員の皆様へ

2007年度全国大会を東京女子大学で開催することになりました。ご多忙のこととは存じますが、万障お繰り合わせの上、ご参加いただければ幸いです。

過日、メールアドレスを登録しておられる会員の皆様へ、今年度全国大会の開催通知を配信いたしました。その通知は学会から皆様への正式な開催通知となります。ただし電子メールを使用されていない会員やメールアドレスを登録されていない会員、アドレスの変更により配信不能となった会員、あるいは紙媒体による通知が必要であるとお申し出になった会員には、別途郵送申し上げております。その旨を是非ご了解いただき、メールアドレスや郵送住所を変更された場合には、速やかに学会事務局までお届けいただきますようお願い致します。

アジア政経学会全国大会実行委員長  
東京女子大学  
滝口 太郎

日程：2007年10月13日（土）・14日（日）  
会場：東京女子大学善福寺キャンパス（東京都杉並区善福寺）  
主催：アジア政経学会

10月13日（土）  
9:30 受付開始（24号館1階ラウンジ）  
10:00～12:30 自由論題（9号館1階、24号館2・3階）  
12:30～14:00 評議員会・理事会（本館2階第5会議室）  
14:00～14:30 総会（24号館2階）  
14:30～17:30 共通論題（24号館2・3階）  
18:00～20:00 懇親会（同窓会会館「72年館」）

10月14日（日）  
9:30 受付開始（24号館1階ラウンジ）  
10:00～12:30 分科会（9号館1階）  
12:30～13:30 編集委員会（本館2階第5会議室）  
13:30～16:30 共通論題（24号館2・3階）

◎小さい子供さんを連れて参加する会員のために、託児室を設置します。ご利用希望者は「託児室設置のお知らせ」をご覧ください、10月5日までにFAXにて学会総務事務局までお申し込みください。

### 10月13日（土）

#### 自由論題 10:00～12:30

<自由論題1>『東アジアの政治』（24号館2階24201教室）

司会：金子芳樹（獨協大学）

報告1：伊賀司（神戸大学大学院博士後期課程）

「『不自由な民主主義』体制下マレーシアにおけるオールターナティブ・メディアの展開」

報告2：佐々木研（東京大学大学院博士後期課程）

「DKBA体制とカレン村落の生態適応にみるカレン州東部の現状」

報告3：高橋祐三（東海大学）

## 「胡錦濤政権の党外人士政策」

### <自由論題2> 『日中関係』 (24号館3階24301教室)

司会：別枝行夫 (島根県立大学)

報告1：張玉玲 (南山大学・非常勤)

「李平凡と日中版画交流—『中国木刻』の思想性に注目して」

報告2：平川幸子 (早稲田大学大学院博士後期課程)

「再考：池田内閣期のL T貿易—『二つの中国』への準備措置？」

報告3：徐顕芬 (早稲田大学)

「日本のODAネガティブ・リンケージの中国への発動とその限界」

### <自由論題3> 『国家と市場経済』 (9号館1階9103教室)

司会：大橋英夫 (専修大学)

報告1：張艶 (福岡女子大学)

「アジア諸国間の株価連動性」

報告2：梶谷懐 (神戸学院大学)・星野真 (神戸大学大学院博士後期課程)

「中国の政府間財政移転の決定要因と経済的効果—県レベルデータを用いた実証分析」

報告3：任哲 (早稲田大学大学院博士後期課程)

「中国不動産業界における政府関与のジレンマ—中央・地方関係の視点から」

### <自由論題4> 『中国の農村と都市』 (9号館1階9102教室)

司会：田島俊雄 (東京大学)

報告1：范丹 (筑波大学大学院博士後期課程)

「中国の市場経済化と農村合作経済組織の展開—四川省の事例分析を通じて」

報告2：呉青姫 (神戸大学大学院博士後期課程)

「中国における労働移動と農地制度—河北省と遼寧省の農家個標データをもとに」

報告3：張健 (兵庫県立大学大学院博士後期課程)

「中国の都市における持続可能な発展指標の構築に関する一考察」

### <自由論題5> 『技術と医療厚生』 (9号館1階9101教室)

司会：澤田ゆかり (東京外国語大学)

報告1：田中勝也 (広島大学)・渡邊周央 (同志社女子大学)

「地理的加重回帰モデルによる中国のイノベーション能力における決定要因分析」

報告2：金子勝規 (兵庫県立大学大学院博士後期課程)

「タイにおける医療需要行動の決定要因」

報告3：和田一哉 (一橋大学大学院博士後期課程)

「母親の自律性は子供の厚生を改善しうるか？—インド・マイクロデータの実証分析」

### <自由論題6> 『現代アジア外交史』 (9号館1階9104教室)

司会：浅野亮 (同志社大学)

報告1：鄭成 (早稲田大学大学院博士後期課程)

「中国東北地域における中共とソ連の相互接近—第二次世界大戦直後の大連・旅順地域を中心に」

報告2：福田円 (慶應義塾大学大学院博士後期課程)

「ラオス紛争と中国の対米・対台湾政策 1959-63年—ジュネーブ会議の『成果』とその限界」

### <自由論題7> 『ネットワークとアイデンティティ』 (9号館1階9105教室)

司会：佐藤幸人 (アジア経済研究所)

報告1：金戸幸子 (東京大学大学院博士後期課程)

「在台日本人の越境動機とそのキャリア戦略にみる日本と東アジアの社会的関係性の変容」

報告2：林泉忠 (琉球大学)

「『辺境東アジア』アイデンティティのダイナミズム—沖縄・台湾・香港・マカオ四地域の国際調査報告と分析」

**評議員会・理事会 12:30~14:00**

**総会 14:00~14:30**

**共通論題 14:30~17:30**

<共通論題1> 『アジアにおける留学の新段階—アジア諸国の高等教育戦略と留学生政策』 (24号館3階24301教室)

司会：平野健一郎（早稲田大学）

報告：杉村美紀（上智大学）

「アジアにおける留学生政策と留学生移動」

報告：太田浩（一橋大学）

「国際留学生市場の拡大とアジア諸国の動向」

報告：白石さや（東京大学）

「何処から？何処へ？—遍路札所としての高等教育ネットワーク構築」

報告：二宮皓（広島大学）

「アジア・ゲートウェイ戦略会議が描く留学生政策の特質とUMAPの可能性」

#### <共通論題2>『中国共産党第17回党大会と中国の政治社会』（24号館2階24202教室）

司会：国分良成（慶應義塾大学）

討論者：天兒慧（早稲田大学）

報告：加茂具樹（慶應義塾大学）

「中国共産党の政権担当能力—『ねらい』と『現実』のあいだ」

報告：三船恵美（駒澤大学）

「中国共産党第17回党大会と中国外交」

報告：菱田雅晴（法政大学）

「社会領域からの観察報告—中国共産党のモルフォジェネシス」

### 懇親会 18:00~20:00（同窓会会館「72年館」）

#### 10月14日（日）

#### 分科会 10:00~12:30

##### <分科会1>『ASEAN結成40周年—共同体へのトリロジー』（9号館1階9103教室）

司会：玉木一徳（国土館大学）

討論者：山影進（東京大学）

報告1：黒柳米司（大東文化大学）

「ASEAN結成40年の総括—対話のフォーラムから共同体へ」

報告2：吉野文雄（拓殖大学）

「ASEAN経済協力の虚像と実像」

報告3：小笠原高雪（山梨学院大学）

「CLMV諸国の加盟とASEAN二層化問題」

##### <分科会2>『インドネシアの政治経済』（9号館1階9104教室）

司会：山本信人（慶應義塾大学）

討論者：米倉等（東北大学）

報告1：頼俊輔（横浜国立大学大学院博士後期課程）

「インドネシアにおける飲料水市場の広がり」と米作農家の灌漑利用への影響について—『水』問題への政治経済学的接近」

報告2：石川耕三（東京大学大学院博士後期課程）

「インドネシアにおけるIMF支援プログラムの評価—通貨危機以後の視点から」

報告3：横本真千子（北海道大学）

「農村の地場産業労働者—西ジャワ州ガルット県織物工場の事例」

##### <分科会3>『盧溝橋70周年』（9号館1階9102教室）

司会：田中仁（大阪外国語大学）

討論者：安井三吉（神戸大学・名誉教授）

報告1：冨塚一彦（外務省外交史料館）

「『東亜』概念の生成と日本の対中外交（1933-1937年）」

報告2：鹿錫俊（大東文化大学）

「日ソ関係の考察と中国の対日戦略（1937-1941年）」

報告3：許育銘（東華大学）

「汪精衛と盧溝橋事件—対日開戦をめぐる論争」

##### <分科会4>『中国基層の社会経済（国際セッション）』（9号館1階9101教室）

司会：巖善平（桃山学院大学）

討論者：加藤弘之（神戸大学）

報告1：張樂天（復旦大学）

「中国城郷社区建設—理念与实践」

報告2：袁鋼明（中国社会科学院經濟研究所）

「中国宏觀經濟現状与基本問題」

報告3：宋洪遠（中国農業部農村經濟研究センター）

「当前中国的『三農』政策及其实施情况」

**編集委員会 12:30～13:30（本館2階第5会議室）**

**共通論題 13:30～16:30**

＜共通論題3＞『アジア通貨危機を越えて—金融・企業セクターの改革』（24号館3階24301教室）

司会：深川由紀子（早稲田大学）

報告：三重野文晴（神戸大学）

「東南アジア型成長下のコーポレート・ファイナンスの構造とその変容—タイ・マレーシアを中心に」

報告：高安健一（日本総合研究所）

「タイにおける金融改革の評価と政策課題」

報告：佐藤百合（アジア經濟研究所）

「インドネシアにおける企業・銀行セクターの改革」

報告：高龍秀（甲南大学）

「韓国における金融・企業セクターの改革—韓国財閥の生き残り戦略」

＜共通論題4＞『東アジア民主政治の方向性—韓国・台湾・タイ』（24号館2階24202教室）

司会：若林正文（東京大学）

討論者：武田康裕（防衛大学）

報告：浅羽祐樹（山口県立大学）

「韓国における民主政治の持続と1987年憲法」

報告：小笠原欣幸（東京外国語大学）

「立法委員選挙と総統選挙を控えた台湾の民主政治の現状と今後の展望」

報告：玉田芳史（京都大学）

「タイのクーデタと民主化」

---

東京女子大学アジア政経学会全国大会実行委員会

委員長：滝口太郎

委員：白砂堤津耶 茂木敏夫 古沢希代子 尾尻希和

＜大会会場の所在地・連絡先＞

東京女子大学善福寺キャンパス

〒167-8585 東京都杉並区善福寺2-6-1

電話03-5382-6548 FAX03-5382-4925

滝口太郎研究室

大会専用アドレス

## ■ 2006年度アジア政経学会全国大会プログラム

アジア政経学会会員の皆様へ

過日、メールアドレスを登録しておられる会員の皆様へ、今年度全国大会の開催通知を配信いたしました。その通知は学会から皆様への正式な開催通知となります。全国大会の開催通知を基本的に電子メールによって行う旨は、以前に学会事務局から皆様へお知らせされた通りです。ただし電子メールを利用されていない会員やメールアドレスを登録されていない会員、アドレスの変更により配信不能となった会員、あるいは紙媒体による通知が必要であると申し出になった会員には、別途郵送申し上げております。その旨を是非ご了解いただき、メールアドレスや郵送住所を変更された場合には、速やかに学会事務局までお届けいただきますようお願いいたします。

アジア政経学会全国大会実行委員長  
慶應義塾大学  
安田 淳

日程：2006年10月28日（土曜日）～29日（日曜日）  
会場：慶應義塾大学日吉キャンパス（神奈川県横浜市港北区日吉）  
主催：アジア政経学会

- 10月28日（土曜日）  
9：30 受付開始  
10：00～12：30 自由論題（523, 524, 532, 533, 534）  
12：30～14：00 理事会（J421）／評議員会（29）  
14：00～14：30 総会（29）  
14：30～17：30 共通論題Ⅰ（24, 29）  
18：00～20：00 懇親会（学生食堂）  
10月29日（日曜日）  
9：00 受付開始  
9：30～12：00 分科会（J411, 412, 413, 414）  
13：00～15：30 共通論題Ⅱ（J14）

（両日ともカッコ内は教室番号）

◎ 両日ともに託児所を用意します。ご利用は無料ですが、事前申し込み制とさせていただきます。ご希望の方は利用希望日・時間帯とお子様の人数・性別・年齢を出欠通知の際にお知らせ下さい。

### 10月28日（土曜日）

#### 自由論題 10：00～12：30

<自由論題1> 『アジアの経済統合』（523番教室）

司会 丸川 知雄（東京大学社会科学研究所）

報告1 鄭 君愚（横浜国立大学大学院国際社会科学研究所博士課程）

「東アジア経済統合の特徴と知識基盤経済の進展—日本と韓国の産業構造およびグローバル戦略を中心に」

報告2 張 艶（福岡女子大学文学部）

「アジア通貨危機と東アジア諸国の貿易」



報告3 東 茂樹 (アジア経済研究所)

「FTA交渉における政策決定過程－日本の二国間EPAを事例に」

#### <自由論題2> 『経済協力と外交』 (524番教室)

司会 菊池 努 (青山学院大学大学院国際政治経済学研究科)

報告1 吉川 敬介 (横浜国立大学大学院国際社会科学研究所博士課程)

「ASEAN経済協力形成プロセスに見る外因性依存－国際情勢と政策提言を中心に」

報告2 徐 顯芬 (早稲田大学政治経済学部)

「日中特殊論と西側協調論の間－対中第三次円借款の凍結および再開の決定論理」

#### <自由論題3> 『アジアにおける産業構造』 (532番教室)

司会 駒形 哲哉 (慶應義塾大学経済学部)

報告1 山口 昌樹 (山形大学人文学部)

「アジアの国際シンジケート・ローン市場－ミクロ・データによるシンジケート構造の分析」

報告2 呉 静 (東京大学大学院経済学博士課程)

「中国広東省東莞市の産業集積の実態とその変遷」

報告3 連 宜萍 (麗澤大学大学院国際経済研究科博士課程)

「台湾のアパレル産業におけるOEM生産方式の限界」

#### <自由論題4> 『中国政治史』 (533番教室)

司会 望月 敏弘 (東洋英和女学院大学国際社会学部)

報告1 岩谷 将 (慶應義塾大学大学院法学研究科博士課程)

「北伐後における中国国民党組織の展開とその蹉跌－党務整理と改組派の活動を中心に」

報告2 鄭 浩瀾 (慶應義塾大学総合政策学部非常勤講師)

「建国初期の中国における農業生産互助組の成立とその実態 (1951～1953年)－江西省の村落を事例として」

報告3 吉村 拓三 (愛知大学大学院中国研究科博士課程)

「文革期における「私」と「公」をめぐる」

#### <自由論題5> 『アジアの社会』 (534番教室)

司会 田村 慶子 (北九州市大学法学部)

報告1 西野 可奈 (成蹊大学法学部)

「1930年代、中国社会学者における「社会」および「コミュニティ」意識の創成－孫本文の「文化社会学」を例として」

報告2 金 淳和 (早稲田大学政治学研究科博士課程)

「韓国の公的扶助制度改革の政策ネットワーク分析」

報告3 樋渡 雅人 (東京大学大学院総合文化研究科国際社会科学専攻)

「ウズベキスタンの親族ネットワーク－アンディジャン州のマハッラの事例」

報告4 菱山 宏輔 (東北大学大学院社会学研究室)

「バリ島地域社会の治安維持活動」

### 10月28日 (土曜日)

共通論題 I 14:30～17:30

#### <共通論題1> "Cooperative Asia or Divided Asia? Searching for Constructive Initiatives in Regional Diplomacy" (英語セッション・同時通訳付) (24番教室)

(慶應義塾大学東アジア研究所共催)

司会 竹中千春 (明治学院大学)

討論者 李鍾元 (立教大学)

報告 T.J. Pempel (University of California, Berkeley)

「Building A Northeast Asian Community: Challenges and Visions」

報告 Shi Yinhong (時殷弘、中国人民大学)

「East Asia Multilateral Regimes and China's Foreign Policy」

報告 Achin Vanaik (Delhi University, India)

「Indian Foreign Policy and Diplomacy since 1991」

#### <共通論題2> 「アジアの核開発と拡散防止レジーム」 (29番教室)

司会 安田 淳 (慶應義塾大学法学部)  
討論 渡辺 昭夫 (平和安全保障研究所前理事長)  
報告 阿部 純一 (財団法人 霞山会)  
「中国の核戦力構築と核拡散防止をめぐる対応」  
報告 平岩 俊司 (静岡県立大学大学院国際関係学研究科)  
「北朝鮮の核開発と6カ国協議」  
報告 伊藤 融 (島根大学法文学部法経学科)  
「核時代の南アジア国際関係と域外への影響」  
報告 立山 良司 (防衛大学校総合安全保障研究科)  
「中東における核兵器開発問題」

## 10月29日(日曜日)

分科会 9:30~12:00

<分科会1>「中国市場経済の深層構造：いちばと小生産者」(J411番教室)

司会・導入 丸川知雄 (東京大学社会科学研究所)  
「中国の商業ネットワークの構造と機能」  
討論 二階堂 有子 (東京大学社会科学研究所)  
吉岡 英美 (九州大学大学院経済学研究院)  
堀口 正 (宮崎公立大学人文学部)

報告1 丁可 (アジア経済研究所)  
「義烏・常熟の生産・流通ネットワーク」  
報告2 今井健一 (アジア経済研究所)  
「規制外市場の成長と産業の進化－中国携帯電話端末産業のケース」  
報告3 梶谷懐 (神戸学院大学経済学部)  
「農民はいかにしてリスクを軽減するか－中国四川省のケースより－」

<分科会2>「アジアの市民社会という視点」(J412番教室)

司会 山本信人 (慶應義塾大学法学部)  
報告1 永井史男 (大阪市立大学)  
「選挙・政党・地域社会」  
報告2 山田満 (埼玉大学)  
「東ティモールの平和構築と市民社会の役割」  
報告3 吉村真子 (法政大学)  
「マレーシアのジェンダーと市民社会」  
報告4 林泉忠 (琉球大学)  
「台湾におけるアイデンティティ政治の特徴」

<分科会3>「上海協力機構のポテンシャル－中央アジアの視点から」(J413番教室)

司会 中居 良文 (学習院大学法学部)  
討論 村井 友秀 (防衛大学校人文社会科学群)  
報告1 湯浅 剛 (防衛庁防衛研究所)  
「中央ユーラシア地域協力枠組みとしての上海協力機構」  
報告2 稲垣 文昭 (慶應義塾大学SFC研究所)  
「中央アジア諸国の外交政策と上海協力機構－タジキスタンを中心的事例に－」  
報告3 岩下 明裕 (北海道大学スラブ研究センター)  
「上海協力機構：3つの『誤解』」

<分科会4>「中国的政治空間における議会」(J414番教室)

司会・討論 西村 成雄 (大阪外国語大学外国語学部)  
報告1 中村 元哉 (日本学術振興会特別研究員)  
「民国期の議会と政策過程」  
報告2 加茂 具樹 (慶應義塾大学法学部)  
「中華人民共和国の『議会』」  
報告3 小笠原 欣幸 (東京外国語大学大学院地域文化研究科)  
「台湾：中華民国体制の枠組と等身大議会の模索」  
報告4 倉田 徹 倉田 徹 (東京大学大学院総合文化研究科博士課程)  
「香港：『行政主導』と民主化の葛藤の下での立法会」

10月29日(日曜日)

共通論題 I I 13:00~15:30

<共通論題3>『アジアの越境』(J14番教室)

司会 高原 明生 (東京大学大学院法学政治学研究科)

報告1 大島 一二 (東京農業大学国際食料情報学部)

「越境：農産物貿易にみる東アジアの相互依存関係」

報告2 高埜 健 (熊本県立大学総合管理学部)

「東南アジアにおける国境を越える犯罪——海賊問題を中心に」

報告3 唐 亮 (法政大学法学部)

「国際社会の対中人権関与と中国人権状況の変化」

報告4 川島 真 (東京大学大学院総合文化研究科)

「アイデンティティの越境—アジア主義」

International Session of Azia Seikei Gakkai

in collaboration with KEIO Institute of East Asian Studies (KIEAS) , Keio University

October 28( 14:30-17:30, Saturday) at Keio University (Hiyoshi Campus, Yokohama)

Cooperative Asia or Divided Asia ?

Searching for Constructive Initiatives in Regional Diplomacy

Moderator: Chiharu Takenaka (Meiji Gakuin University)

Guest Speakers:

T.J. Pempel (University of California, Berkeley)

“Building A Northeast Asian Community: Challenges and Visions”

Shi Yinhong (Renmin University of China)

“East Asia Multilateral Regimes and China’s Foreign Policy”

Achin Vanaik (Delhi University)

“Indian Foreign Policy and Diplomacy since 1991”

Discussant: Lee Jong Won (Rikkyo University)

\*The session will be operated in English with simultaneous translation into Japanese.

国際セッション (共催：慶應義塾大学東アジア研究所)

10月28日(土) 14:30~17:30 慶應義塾大学(日吉キャンパス 24番教室)

**協力するアジアか、分裂するアジアか？  
地域外交の建設的イニシアティブを求めて**

司会： 竹中千春(明治学院大学)

ゲスト・スピーカー

T・J・ペンペル(カリフォルニア大学バークレー校)

「北東アジア共同体の建設：その挑戦とヴィジョン」

時殷弘(人民大学)

「東アジアの多元主義的な体制と中国外交」

アチン・ヴァナイク(デリー大学)

「1991年以後のインドの対外政策と外交」

討論者： 李鍾元（立教大学）

\*国際セッションは英語で進めますが、日本語への同時通訳を行います。

**慶應義塾大学アジア政経学会全国大会実行委員会**

委員長 安田 淳

委員 段 瑞聡 林 秀光 加茂 具樹

## ■ 2005年度アジア政経学会（島根県立大学）全国大会のご案内

### 八百万の神々と共に アジア政経学会の会員の皆様を 歓迎いたします

陰暦の10月は、島根（出雲）では神在月と呼んでいます。全国から八百万の神々が出雲の地に集まってくるので、全国各地には神々がいなくなることから神無月と一般にいわれ、逆に神々を迎える島根では神在月と呼んでいます。八百万の神々と共に、私共の島根県立大学で開催される2005年度アジア政経学会に集われる、会員の皆様を心から歓迎いたします。

島根県立大学は平成12年4月に開学したばかりの、1学部、2大学院研究科からなる小さな大学です。地政学的環境をも考慮に入れながら、島根県立大学では「北東アジア学の創成」を目指して精力的に研究活動を展開しています。これを機縁として、この度アジア政経学会のご好意により本年度の全国大会を島根県立大学で開催させていただくことになりました。

八百万の神々を迎えるHospitalityでもって会員各位をお迎えすべく準備をすすめております。秋の山陰路に是非足をお運びいただきたくご案内申し上げます。



敬具

平成17年9月末日  
島根県立大学アジア政経学会全国大会  
実行委員会委員長 今岡日出紀

日程：2005年10月29日（土曜日）～30日（日曜日）

会場：島根県立大学（島根県浜田市）

主催：アジア政経学会

10月29日（土曜日）

9：00 受付開始

9：30～12：00 自由論題（第I部）

12：00～13：00 評議員会

13：30～16：30 共通論題・特別国際セッション

18：00～20：00 懇親会

10月30日（日曜日）

8：30 受付開始

9：00～12：00 分科会

12：00～12：30 理事会

12：30～13：00 会員総会

13：00～14：30 自由論題（第II部）

学会時の宿泊・交通に関しては、  
日本旅行グループ日旅サービス株式会社で申し込みいただけます。  
申し込み方法はこちらをご覧ください。

**10月29日（土曜日）**

## 自由論題 9:30~12:00

### <自由論題1> 『東南アジアの金融・プログラム援助』

報告1 奥田 英信 (一橋大学経済学部)

竹 康至 (一橋大学大学院経済学研究科博士課程)

『アジア危機前後でのインドネシア上場企業の資金調達構造の変化：金融改革は企業行動に影響を与えたか?』

報告2 秋葉まり子 (弘前大学教育学部)

『ベトナム政府金融活動の実態』

報告3 久保 彰宏 (大阪市立大学大学院経済学研究科後期博士課程)

『東南アジア諸国のインフレ・ターゲティングに対する一考察』

司会 絵所 秀紀 (法政大学経済学部)

### <自由論題2> 『東アジアの国際経済協力』

報告1 森川 裕二 (早稲田大学社会科学研究所博士課程)

『東アジア食糧安全保障協力と国際貿易交渉』

報告2 木南 莉莉 (新潟大学農学部)

『東アジアにおけるFTAの進展と農業をめぐる経済連携』

報告3 高橋 睦子 (島根県立大学大学院開発研究科)

『リスク社会論の視点からみた東アジアにおける環境と福祉』

司会 加藤 弘之 (神戸大学大学院経済学研究科)

### <自由論題3> 『アジア諸国の経済・政策をめぐる諸問題』

報告1 百成 政秀 (神戸大学大学院後期博士課程)

『大宇グループの企業活動－自由化時代の韓国の経済システムに関する一考察』

報告2 上田 清之 (中央大学大学院経済学研究科後期博士課程)

『中国の比較優位構造の変化』

報告3 王 鵬 (九州大学大学院経済学府博士課程)

『国防部門の経済活動と中国の経済体制改革－「生産経営活動」と「軍転民」政策の政治的意義』

司会 丸川 知雄 (東京大学社会科学研究所)

### <自由論題4> 『中国の政治経済の諸相』

報告1 周 偉嘉 (産能大学経営学部)

『中国の民営化と「温存療法」』

報告2 徐 一叡 (慶應義塾大学大学院経済学研究科博士課程)

『中国の政府間財政調整制度の政治的意図－課税努力の視点から』

報告3 達 古拉 (新潟大学自然科学研究所博士課程)

『中国・内モンゴルにおける酪農振興の現状と課題－企業参入型・政府援助型・複合経営型酪農の分析を通じて－』

司会 上原 一慶 (京都大学経済研究所)

### <自由論題5> 『台湾の経済発展』

報告1 赤羽 淳 (三菱総合研究所)

『台湾の対中投資に対する一考察－台湾経済に与える影響の視点から－』

報告2 中嶋 航一 (帝塚山大学経済学部)

『日本統治期台湾の経済開発の諸相：台湾農民の経済合理性』

報告3 河原林直人 (龍谷大学)

『台湾総督府と台湾商人の経済合理性；1910～20年代を中心に』

司会 若林 正文 (東京大学大学院総合文化研究科)

### <自由論題6> 『中国の外交』

報告1 三船 恵美 (駒澤大学法学部)

『中国の安全保障戦略における対イラン・イスラエル関係』

報告2 兪 敏浩 (慶應義塾大学大学院法学研究科後期博士課程)

『1990年代の中国外交と日本——二つの規範の相克と特殊関係の変容』

報告 3 張 紹鐸（島根県立大学北東アジア研究科後期博士課程）

『国連における中国代表権問題：米・台・中の対アフリカ外交—1962年～65年』

司会 浅野 亮（同志社大学法学部）

**評議員会 12:00～13:00**

**共通論題 13:30～16:30**

**<共通論題1> 「アジア冷戦史の再検討」**

報告 石井 明（東京大学大学院総合文化研究科）

『冷戦と中国—進む中国の冷戦研究』（中国）

報告 木宮 正史（東京大学大学院総合文化研究科）

『アジア冷戦史の再検討』（朝鮮半島）

報告 黒柳 米司（大東文化大学）

『アジア冷戦史再考—ZOPFANを手がかりに』（ASEAN）

報告 堀本 武功（尚美学園大学大学院総合政策研究科）

『南アジアと国際政治 — 印米関係を中心に —』（南アジア）

司会 宇野 重昭（島根県立大学）

**<共通論題2> 「北東アジアをめぐる“超域”研究」**

問題提起 平野健一郎（早稲田大学）

『アジアにおける地域性の創生』

報告 井上 治（島根県立大学大学院北東アジア研究科）

『モンゴル人民共和国成立期の“超域”主義的人文学—ジャムツァラーノの研究から—』

報告 金 鳳珍（北九州市立大学国際関係学科）

『北東アジアにおける社会進化論の受容の—様相—保護統治下の朝鮮からの日本留学生の雑誌を中心に』

報告 貴志 俊彦（島根県立大学大学院北東アジア研究科）

『満洲国の“超域”主義—情報宣伝政策から考える—』

報告 西村成雄（大阪外国語大学地域文化学科）

『「満洲国」の崩壊と領域性の流動化—戦後東北問題を手がかりに—』

司会・討論 平野健一郎（早稲田大学政治経済学部）

討論 林 泉忠（琉球大学法学部）

**<特別国際セッション>**

**アジア諸国における経済開発政策過程における経済テクノクラート—その役割と変容—（アジア政経学会と経済産業研究所との共催。使用言語：英語）**

（目的）韓国の経済企画院、タイの国家経済社会開発庁、インドネシアのBappenas、マレーシアのEPUなどに代表されるように、これまでアジア諸国の経済開発過程においては「スーパー官庁」とも称される強力な経済官庁が存在し、経済テクノクラートが重要な役割を果たしてきたと考えられている。

しかし、1997年のアジア通貨・金融危機ならびに民主化の進展により、これらのスーパー官庁ならびに経済テクノクラートが置かれる政治社会的状況は著しく変化した。

本セッションではアジア通貨・経済危機の影響を強く受けた東南アジア諸国の事例を軸にして、経済危機以降のなかで、経済政策決定過程ならびに経済テクノクラートの果たす役割の変化について焦点を当てる。

その際に、これら諸国に先立ち経済開発を推進した韓国ならびに、経済計画から経済の自由化を進めているインド、中国との比較を行い、経済開発過程における経済テクノクラートの役割の変容と将来展望を行う。

なお、本セッションは独立行政法人・経済産業研究所との共催である

報告者

1. タクシン政権下のタイの経済政策決定過程とその変容：Chris Baker(Chulalongkorn University)

2. 経済危機以降のマレーシアの経済政策決定過程：Dr. Mahahi Zainal Abidin(Ministry of Higher Education)

3. インドネシアにおける経済テクノクラートの変容：白石隆（政策研究大学院大学）

4. フィリピンにおける経済テクノクラートの変容：Dr.Teresa (Philippine University, Institute of Third World Studies)

討論者 Dr.Pasuk( Chulalongkorn University)  
服部民夫 (東京大学)

司会 : 鳥居高 (明治大学)

**懇親会 18:00~20:00**



**10月30日 (日曜日)**

**分科会 9:00~12:00**

**<分科会1> 「中国・韓国 『反日』の構図」**

報告 (中国) 加藤 千洋 (朝日新聞外報部)

『「反日デモ」について』

報告 (中国) 趙 宏偉 (法政大学キャリアデザイン学部)

『市民層の反日とエリート層の対日—中国の対日反応の階層的構図—』

報告 (韓国) 姜 英之 (北陸大学未来創造学部)

『-----韓国における「反日」重層構造-----』

報告 (韓国) 小針 進 (静岡県立大学国際関係学部)

『韓国の対日意識と2005年の葛藤背景』

司会・討論 天見 慧 (早稲田大学大学院アジア太平洋研究科)

**<分科会2> 「アジア社会の少子高齢化と社会保障制度」**

報告 梶原 弘和 (拓殖大学開発協力学科)

「アジアの少子高齢化の現状と展望—人口と経済開発：韓国とフィリピンの比較」

報告 新田目夏実 (拓殖大学開発協力学科)

「アジアの少子高齢化と家族、地域社会」

報告 大泉啓一郎 (日本総合研究所)

「アジアのマクロ経済からみた社会保障制度構築の問題点」

討論 若林 敬子 (東京農工大学大学院)

討論 小川 哲生 (千葉大学法経学部)

司会 末廣 昭 (東京大学社会科学研究所)

**<分科会3> 「ヒューマンセキュリティとアジアの地域構想」**

報告 ティースマイヤ・リン

(慶應義塾大学環境情報学部)

『東南アジアにおけるヒューマンセキュリティ：開発による土地、福祉、健康への脅威』

報告 廣瀬 (金野) 陽子 (東京外語大学大学院地域文化研究科)

『BTCパイプラインのカスピ海地域にもたらす影響：平和構築・政治経済発展に注目して』

報告 王雪萍 (慶應義塾大学大学院政策メディア研究科後期博士課程)

『中国の大気問題と東アジアの人間安全保障』

司会・討論 梅垣埋郎 (慶応大学総合政策学部)

**<分科会4> 「北東アジアにおける価値共有に向けて」 主催校企画**

報告 岩下明裕 (北海道大学スラブ研究センター)

『北東アジアの新たなダイナミズム：中ロ関係の経験から日ロ国境問題をどのように動かすか』

報告 李曉東 (島根県立大学総合政策学部)

『近代中国の日本留学と日中関係』

報告 福原裕二 (島根県立大学総合政策学部)

『金大中政権期の国際関係』

討論 判澤純太 (新潟工科大学工学部)

司会・討論 別枝行夫 (島根県立大学総合政策学部)



**理事会 12:00~12:30**

**会員総会 12:30~13:00**

**自由論題 第II部 13:00~14:30**

**<自由論題7> 『中国の国内政治』**

報告1 柴田 哲雄 (愛知学院大学教養部)

『非合法政党・中国民主党の綱領に関する試論—インターネット公開資料を基に—』

報告2 李 海燕 (一橋大学社会学研究科博士課程)

『中華人民共和国の建国前後における中国共産党の朝鮮族政策—土地・国籍・自治問題を中心に—』

司会 田中 恭子 (南山大学法学部)

**<自由論題8> 『アジア諸国の国内政治』**

報告1 五十嵐誠一 (日本学術振興会特別研究員PD)

『マルコス体制崩壊過程における市民社会—その二面性の実態と民主化との因果律の解明—』

報告2 近藤 高史 (京都大学大学院研究生)

『パキスタン人民党の結成とZ・A・ブットー』

司会 金子 芳樹 (獨協大学外国語学部)

**大会終了 15:00**

※交通機関の時刻の都合から、すべての行事は午後3時に終了いたします。

島根県立大学アジア政経学会

全国大会実行委員会

委員長 今岡日出紀

副委員長 別枝 行夫

貴志 俊彦

井上 治

松村 憲樹

委員 李 暁東

江口 伸吾

西野 可奈

福原 裕二

■ アジア政経学会2004年度全国大会の詳細

かねてよりご案内申し上げておりますアジア政経学会2004年度全国大会を別添のプログラムにより開催することになりました。

途上国、中進国、新興工業地域といった捉え方が陳腐化しようとするほどに変貌著しい東アジア(含む東南アジア)で、一方では国家の枠組みを超えようとする議論が高まり、他方では身の回りの地域社会やコミュニティにも著しい変化が生じているようです。また、この一年間アジアは選挙の年でもあります。マクロでもミクロでも起きている大きな変化をどのように反映したものとなるか、各国の政治の行方が注目されます。今大会はこのような状況を反映したプログラムとなりました。皆様の積極的な参加と熱い議論を期待しております。ただ残念ながら、従前よりご指摘いただいている南アジアの研究報告がございません。実行委員会の努力不足とのお叱りもあるかと思いますが、次年度への申し送り事項とさせていただきますたく存じます。

社会科学系の学会としては異色の農学部キャンパスでの開催となりました。天気が良ければ、ビルに囲まれた街中で羊が草を食むのどかで愛おしい光景も見られます。当学会の歴史の中にさやかな記憶として残れば幸いです。

皆様の来仙を心よりお待ちしております。ご多用中とは存じますが、万障お繰り合わせの上参加くださいますようご案内申し上げます。なお、お手数ですが準備の都合もございましたので、郵便又はEメールで10月20日(水)までに「出欠アンケート」を大会事務局に返送下さいますよう。また、今般は試験的に大会通知をEメールで行うことにいたしました。つきましては、「電子メール利用に関するアンケート」にも合わせて回答下さいますようお願い申し上げます。

記

日程 2004年10月30日(土) - 31日(日)

大会第1日目 10月30日(土)

受付開始 午前9時30分より

自由論題 午前10時 - 12時30分

理事会 午後0時40分 - 1時40分

共通論題 午後2時 - 5時

会員総会 午後5時 - 5時30分

懇親会 午後5時30分 - 7時30分

大会第2日目 10月31日(日)

受付開始 午前9時より

分科会 午前の部 午前9時30分 - 12時

分科会 午後の部 午後1時 - 3時30分

会場 東北大学大学院農学研究科

仙台市青葉区堤通雨宮町1-1

主催 東北大学アジア政経学会全国大会実行委員会

共催 東北大学大学院 農学研究科

東北大学大学院 文学研究科COE「社会階層と不平等研究教育拠点」

## アジア政経学会2004年度全国大会プログラム

日程 2004年10月30日（土曜）－31日（日曜）

会場 東北大学大学院 農学研究科

主催 東北大学アジア政経学会全国大会実行委員会

共催 東北大学大学院 農学研究科

東北大学大学院 文学研究科COE「社会階層と不平等研究教育拠点」

東北大学 学際科学国際高等研究センター プロジェクト研究

「中国におけるCDM普及に向けての学際的研究」

### 大会第1日目 10月30日（土曜）

受付開始 午前9時30分より

自由論題 午前10時－12時30分（自由論題プログラムのページをご覧ください）

理事会 午後0時40分－1時40分

共通論題 午後2時－5時

会員総会 午後5時－5時30分

懇親会 午後5時30分－7時30分

#### 共通論題1. 「東アジア共同体の可能性」

1997年のアジア通貨危機以来、地域主義の傾向が強まり、ASEANプラス日中韓（10＋3）を東アジアと呼ぶことが定着しつつある。FTA等で東アジアは急速にグローバル化する一方で、政治面の壁は依然として高い。東アジア共同体は可能か、その行方を探る。

司会 毛里和子（早稲田大学）

パネリスト 宮川眞喜雄（日本国際問題研究所）

小島朋之（慶應義塾大学）

鈴木佑司（法政大学）

深川由起子（東京大学）

#### 共通論題2. 「東南アジアの都市化と居住コミュニティの変容－インドネシアの事例」

日本との比較を念頭においてジャカルタ首都圏郊外の新興住宅地のコミュニティ、ジャカルタの隣組、ジャワの農村を分析する。郊外－都市－農村をワンセットにつないで日本と比較しながらインドネシアを論じ、21世紀のアジアのコミュニティ像を検討する。

司会兼討論 北原 淳（名古屋大学）

報告、コメント

(1) 加納啓良（東京大学）

「ジャカルタと東京－郊外地域の形成とその歴史的意味」

(2) 吉原直樹（東北大学）

「ジャカルタにおける地域コミュニティの布置構成と制度的再編の動向－日本のコミュニティ／町内会の動向を見据えながら」

(3) 大鎌邦雄（東北大学）

「インドネシアの地方自治改革と農村コミュニティ－日本の地方行政システムとの比較」

コメンテーター： 水野広祐（京都大学）

## 大会第2日目 10月31日(日曜)

受付開始 午前9時より

分科会 午前の部 分科会 1-3 午前9時30分－12時

分科会 午後の部 分科会 4-6 午後1時－3時30分

### 分科会 1. 「東アジアにおける選挙政治」

司会 山本信人(慶應義塾大学)

報告、コメント

(1) 渡辺 剛 (杏林大学)

「台湾の選挙政治－民主化・政権交代と権威主義の遺産」

(2) 岡本正明 (京都大学)

「インドネシアの選挙政治－大統領直接選挙制導入に伴う政党政治変容」

(3) 中村正志 (アジア経済研究所)

「マレーシアにおける選挙の政治統合機能」

コメンテーター： 黒柳米司 (大東文化大学)

### 分科会 2. 「中国共産党の現段階」

司会兼討論 西村成雄 (大阪外国語大学)

報告、コメント

(1) 菱田雅晴 (法政大学)

「世界最大の既得権益集団－党を如何に捉えるべきか」

(2) 川井伸一 (愛知大学)

「コーポレート・ガバナンスからみた中国共産党」

(3) 諏訪一幸 (北海道大学)

「幹部管理政策の現状と展望」

コメンテーター： 小嶋華津子 (筑波大学)

### 分科会 3. 「アジアの森林問題」

司会 工藤昭彦(東北大学)

報告、コメント

(1) 谷 祐可子 (東北学院大学)

「ミャンマーにおける森林減少と人々の法意識：バゴー山地における開墾を例として」

コメンテーター： 増田美砂(筑波大学)

(2) 関 良基 ((財)地球環境戦略研究機関)

「中国の退耕還林をめぐるポリティカル・エコロジー－政府の論理と農民の論理－」

コメンテーター： 池上彰英(明治大学)

(3) 加藤 学 (アジア経済研究所、CIFOR出向中)

「インドネシアの森林消失と林業改革：資源レント配分の変化とインセンティブ」

コメンテーター： 横山繁樹((独)農業・生物系特定産業技術研究機構)

### 分科会 4. (英語分科会) “After The Crisis”

経済危機以降の政権運営をマレーシアのマハティル／アブドゥーラ政権、インドネシアのメガワティ政権、タイのタクシン政権、フィリピンのアロヨ政権について評価。

司会 片山 裕(神戸大学)

パネリスト

鳥居 高 (明治大学)

本名 純 (立命館大学)

パスーク・ポンパイチット (チュラロンコン大学)

ペルリータ・フラゴ (フィリピン大学) – アビナーレス氏の都合により変更–

### 分科会 5. 「現代アジアの構造変容と新しい文化的不平等」

(共催: 東北大学大学院 文学研究科 COE 「社会階層と不平等研究教育拠点」)

司会 佐藤嘉倫 (東北大学)

報告、コメント

(1) 川口幸大 (東北大学)

「現代中国の文化的階層に関する研究 – 珠江デルタにおける宗族組織、葬送儀礼、年中行事の事例から –」

コメンテーター: 石田 浩 (関西大学)

(2) 菱山宏輔 (東北大学)

「インドネシアの都市コミュニティにおける文化的不平等」

コメンテーター: 今野裕昭 (専修大学)

(3) 謝 桂華 (東北大学)

“Transition of Urban Labor Market in China”

コメンテーター: 川野幸男 (大東文化大学)

### 分科会 6. 「アジアの開発と環境問題 – 国際協力の視野から –」

(共催: 東北大学学際科学国際高等研究センター プロジェクト研究

「中国における CDM 普及に向けての学際的研究」)

司会 川端 望 (東北大学)

報告、コメント

(1) 張 興和 (東北大学)

「中国山西省の石炭・鉄鋼産業による環境汚染と日中技術協力の可能性」

コメンテーター: 氏川恵次 (横浜国立大学)

(2) 石井 敦 (東北大学)

「北朝鮮と地球温暖化問題: 日本との CDM を実施するための予備的考察」

コメンテーター: 高橋禮二郎 (東北大学)

(3) 寺尾忠能 (アジア経済研究所)

「産業公害対策における『日本の経験』と途上国の経済開発」

コメンテーター: 相川 泰 (鳥取環境大学)

---

## 自由論題プログラム

自由論題プログラム 10月30日(土曜) 午前10時 – 12時30分

### 自由論題 1. 「中国の開発と社会」

司会 池上彰英(明治大学)

1. 高山陽子(東北大学大学院環境科学研究科)「中国張家界の観光開発」
2. 林秀光(慶應義塾大学法学部)「中国三峡ダム建設における利益誘導 – 「三峡省」から重慶直轄市へ」
3. 唐成(慶應義塾大学総合政策学部)「中国における地方政府の規模と経済成長 – パネルデータによる経済格差の実証分析」

### 自由論題 2. 「中国経済分析」

司会 中兼和津次(青山学院大学)

1. 何立新(一橋大学経済学研究科博士課程)「中国都市部における公的年金制度改革と所得再分配効果—2002年中国都市部家計調査データに基づいた計量的分析」 図表
2. 古島義雄(玉川大学)「中国における家計貯蓄の動向—地域的特徴と貯蓄動機」
3. 梶谷懐(神戸学院大学経済学部)「改革開放期中国の地域間リスクシェアリングとモラルハザード—財政・金融の視点から」
4. 張艶(早稲田大学商学部)「中国の物価に対する金融政策・実体経済の効果」

### 自由論題 3. 「市場、国家、地場から見る東南アジア」

司会 岡本郁子(アジア経済研究所)

1. 佐藤朋久(東北大学大学院農学研究科)「1990年代のベトナムにおけるコメ国家貿易の自由化過程に関する研究」
2. 水野明日香(東京大学東洋文化研究所)「ミャンマーにおける農地改革—土地の「公平」な分配の規範と実態」 表
3. 横本真千子(北海道大学大学院経済学研究科博士課程)「インドネシアの地場産業—西ジャワ絹産業の事例」

### 自由論題 4. 「東南アジア経済」

司会 絵所秀紀(法政大学)

1. 三嶋恒平(東北大学大学院経済学研究科博士課程)「東南アジアのオートバイ産業(市場とメーカーの動向)」
2. 石川耕三(東京大学大学院経済学研究科博士課程)「インドネシアにおける国営銀行優位体制の成立—1980年代金融自由化の前提条件」
3. 三重野文晴(神戸大学大学院国際協力研究科)「タイ主要企業の上場行動と証券市場—ビジネス・グループ、外資系企業と公開企業化」

### 自由論題 5. 「海外投資」

司会 川端 望(東北大学)

1. 松村玲(東北大学大学院国際文化研究科博士課程)「インドネシアの経済成長と海外直接投資」
2. 三木敏夫(札幌学院大学経済学部)「ブミプトラ政策下の日系進出企業の経営について」
3. 赤羽淳(三菱総合研究所産業戦略研究部)「台湾の対中投資が本国経済に与える影響—2000年以降の分析を中心に」

### 自由論題 6. 「現代アジア政治史」

司会 中居良文(学習院大学)

1. 福田忠弘(早稲田大学社会科学部)「南ベトナムにおける革命路線の萌芽—「南ベトナム革命路線」の検討を中心に」

2. 高橋勝幸(早稲田大学大学院アジア太平洋研究科博士課程)「朝鮮戦争開戦前後のタイの平和運動」
3. 加茂具樹(慶應義塾大学法学部)「中国共産党の人民代表大会に対する領導の実態とその限界」
4. 谷川真一(スタンフォード大学大学院社会学部博士課程)「政治的暴力の拡散と党国家構造—陝西省における文化大革命(1966~1971年)」

#### 自由論題7. 「ジェンダー・インフォーマルセクター」

司会 沼崎一郎(東北大学)

1. 金戸幸子(東京大学大学院総合文化研究科博士課程)「台湾の「両性工作平等法」成立過程にみる<国家>再編とジェンダーの主流化」
2. 遠藤環(京都大学東南アジア研究所)「グローバル化とインフォーマル経済：バンコクのコミュニティにみる女性のライフコース」
3. 水上祐二(横浜国立大学大学院国際社会科学研究所博士課程)「バンコク都における露天商の所得に関する社会経済的分析—聞き取り調査結果から」

#### 自由論題8. 「アジアにおける地域協調」

司会 丸川知雄(東京大学)

1. 安部雅人(東北大学大学院農学研究科博士課程)「地域協調と重層的システムの成立要因にみるカスピ海周辺のエネルギー資源開発」
2. 佐藤考一(桜美林大学国際学部)「「東アジアコミュニティ(東アジア共同体)」構想と日本」
3. 長谷川貴弘(東北学院大学オープン・リサーチ・センター)「中国-ASEAN間のFTA締結の意義と今後の展望-中国側の視点を中心に」

#### 自由論題9. 「アジアと日本」

司会 滝口太郎(東京女子大学)

1. 王雪萍(慶應義塾大学政策・メディア研究科博士課程)「改革開放期の中国派遣学部留学生政策-1980年日本に派遣した学部留学生への追跡調査を中心に」
2. 川原勝彦(横浜市立大学)「明治開港初期日本における清国人による幼児誘拐問題について」
3. 葛目知秀(早稲田大学大学院商学研究科博士課程)「日本と韓国の内外価格差に関する一考察-「距離」と「国境」の経済的影響」

#### —共通論題、分科会、自由論題に関する留意事項—

1. 自由論題では、教室数の都合で4報告となったセッションが2つございます。ご寛恕下さいますよう。
2. 各セッションでは1報告につき、報告25~35分、討論・総括15~30分を目処とし、制限時間内に終了するよう議事進行にご配慮下さい。

3. 休憩は、司会のご判断で適宜お取りください。休憩場所に飲み物を用意する予定です。
4. 自由論題報告者の所属は、報告者の名乗にできるだけ沿って記載しております。

---

### 実行委員会からの連絡とお願い

1. 別添の「出欠アンケート」および「電子メール利用に関するアンケート」にお答えください。返信は、Eメールでは下記の大会専用アドレスに、郵便の場合は大会事務局連絡先住所に願います。10月20日までに返信下さるよう、お願い申し上げます。
2. 宿泊、交通の手配は添付の案内を参考に各自で行って下さい。
3. 使用教室は、参加申込の程度によりますので大会直前の決定となりますが、可能であれば学会ホームページ(<http://www.jaas.or.jp/>)でも事前にお知らせします。
4. プレゼンテーション機器(パソコン、OHP等)の使用およびファイル・資料の提出方法については、報告者その他関係の方々に別途お知らせします。
5. 自由論題のために提出していただいたフルペーパー、ならびに共通論題・分科会関連の論文等は、あわせて学会ホームページに掲載予定です、ご利用下さい。
6. 大会実行委員会からの当日の配布資料は、要約集のみです。報告やコメントの資料としてフルペーパーその他ハンドアウトを配布される方は、予想される人数分をご自分で用意下さい。
7. 懇親会費は5000円とさせていただきます。参加希望者は、当日受付にてお支払い下さい。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

東北大学アジア政経学会全国大会実行委員会  
沼崎一郎(文学研究科) 副委員長  
木村喜博(環境科学研究科) 委員  
川端 望(経済学研究科) 委員  
葉 剛 (国際文化研究科) 委員  
野崎 明(東北学院大学、経済学部) 委員  
冬木勝仁(農学研究科) 事務局  
米倉 等(農学研究科) 委員長

事務局連絡先  
冬木勝仁

東北大学大学院農学研究科 資源環境経済学講座  
〒981-8555 仙台市青葉区堤通雨宮町1-1  
Tel: 022-717-8666(直通)

### 仙台駅からの交通案内

会場： 東北大学大学院農学研究科・農学部 仙台市青葉区堤通雨宮町1-1

1. タクシー約10分、片道1,000円強



2. 地下鉄「北四番丁」まで約5分、1番出口を出て、徒歩5分、片道200円
3. バス(北仙台方面に向かうバス、複数の乗り場から多数あり)「堤通雨宮町」または「農学部前」まで約15分、下車後徒歩3～5分、片道180円

### 仙台空港からの交通案内

1. 仙台駅までの直通バス、約40分、片道910円
2. 仙台市街地までの乗合タクシー、東北大農学部まで片道1名あたり1,900円(要予約) 予約先：いなりタクシー Tel:022-241-1122 Fax:022-241-1120

### 会場近くの宿泊案内

会場・宿泊案内図に示した下記のホテルを確保しています(10月30日1泊、計約70室)。ご予約の際は、「アジア政経学会参加者」である旨を伝えてくだされば、下記の料金が適用されます。

1. K K Rホテル仙台(農学部まで徒歩15分)〒980-0012 宮城県仙台市青葉区錦町1丁目8-17Tel: 022-225-5201(代) Fax: 022-265-7701仙台駅より、  
1) タクシー約5分、2) 徒歩約15分、3) 地下鉄勾当台公園駅(約3分)下車徒歩6分 1泊税込み(朝食含まず)シングル5,670円、ツイン1名あたり6,300円
2. ホテルグリーンシティ(農学部まで徒歩5分) 〒984-0915 宮城県仙台市青葉区通町1-6-23Tel: 022-219-2691 Fax:022-219-1560仙台駅より、  
1) タクシー約15分、2) 地下鉄北四番丁駅(約5分)下車徒歩5分 1泊税込み(朝食としてパン、コーヒー、タマゴ込み)シングル5,650円

### 会場・宿泊案内図

#### 仙台駅近辺のホテルの案内

実行委員会で確保はしていませんが、仙台駅近辺の主なホテルは下記のとおりです。

東京第一ホテル	青葉区中央2	022-262-1355	5800円～
チサンホテル仙台	青葉区中央4	022-262-3211	7200円～
ホテルサンルート仙台	青葉区中央4	022-262-2323	7900円～
ホテル法華クラブ仙台	青葉区本町2	022-224-3121	6909円～
三井アーバンホテル仙台	青葉区本町2	022-265-3131	7272円～
仙台ガーデンパレス	宮城野区榴岡4	022-299-6211	7000円～
仙台ワシントンホテル	青葉区大町2	022-222-2111	6273円～
ホテルJALシティ仙台	青葉区花京院1	022-711-2580	8800円～
ホテルメトロポリタン仙台	青葉区中央1	022-268-2525	10000円～
ホテル仙台プラザ	青葉区本町2	022-262-7111	9000円～
ホリディ・イン仙台	若林区新寺1	022-256-5111	9500円～
三井アーバンホテル 仙台アネックス	青葉区中央2	022-221-8111	8200円～

## 2003年度アジア政経学会 全国大会のお知らせ

### 記

日時 2003年11月8日(土)、9日(日)  
場所：東京 一橋記念講堂学術総合センター  
住所：東京都千代田区一ツ橋2-1-2 (Tel 03-4212-6321)、中会議場4つ、小会議室3つ  
主催：東京大学社会科学研究所  
実行委員会：末廣昭(代表)、田島俊雄、丸川知雄(事務局)

#### ◆11月8日(土)

#### 11月8日(土) 午前の部 自由論題の研究分科会(7つの分科会)

午前9時半 受付開始： 午前10時から午後12時10分

(7つの会場：各会場 報告30分×3名、討論各10分×3の計120分、ただし、報告者4名の分科会3と5は、報告20分×4名、討論10分×4の計120分)

##### 分科会1 台湾の産業発展

座長 トウ 照彦(国学院大学)

- \* 陳正達(京都大学大学院経済学研究科院生)「1980年代の台湾産業秩序政策について－石油化学工業の自己完結的体系の形成を中心に」
- \* 赤羽淳(三菱総合研究所産業戦略研究部)「台湾TFT-LCD産業－発展の系譜」
- \* 中原裕美子(九州大学大学院経済学府院生)「台湾のパソコン産業のOEM・ODM」

##### 分科会2 アジアの国際関係

座長 小川雄平(西南学院大学)

- \* 三船恵美(中部大学国際関係学部)「中ソ対立期における中国の核開発をめぐる米中関係－1961～1966年－」
- \* 勝間田弘(Institute of Defense and Strategic Studies)「なぜアジアの安全保障協力はインフォーマルなのか－国際規範と地域の外交」
- \* 小林良樹(早稲田大学アジア太平洋研究科院生)「中国における対日感情の研究－世論調査結果及び背景事情の分析」

##### 分科会3 中国現代史

座長 石原亨一(神戸大学)

- \* 高橋祐三(東海大学)「中国共産党の民主諸党派政策」
- \* 横山政子(大阪大学文学研究科院生)「公共食堂運営からみた人民公社化過程における生産組織と家族－大躍進期黒竜江省を中心に－」
- \* 峰毅(三井化学/日本化学工業協会)「満州化学工業の開発と新中国への継承」
- \* 相川泰(日本学術振興会)「中国の環境問題とそれに対する取り組み」

##### 分科会4 インドの労働市場と日本の外国人研修生

座長 柳澤 悠(東京大学東洋文化研究所)

- \* 清川雪彦・高橋壘(一橋大学)「インド繰綿産業の発展と女子労働力の雇用－戦前農村工業としての意義」
- \* 山田菜美子(横浜国立大学)「農村における非農業就業－インド、ウツタル・プラデーシュの事例より」
- \* 曙光(関西学院大学総合政策研究科院生)「不況下の外国人研修生の流入を規定する諸要因」

##### 分科会5 中国経済の構造変化

座長 山本裕美(京都大学)

- \* 楽君傑(関西学院大学経済学研究科院生)「中国沿海地域における農村既婚女性の就業行動に関する分析－浙江省岱山県の調査データに基づいて」
- \* 巖善平(桃山学院大学経済学部)「中国における地域間人口移動の動向と特徴－人口センサスの集計データの分析を中心に－」
- \* 胡秋陽(神戸大学経済学研究科院生)「中国の産業構造と貿易構造－日本との比較を中心に」
- \* 張艶(早稲田大学商学部)「高成長を維持しながら、どうして物価水準が低いのか－最近の中国経済について」

## 分科会6 東南アジアの行政・外交

座長 平川 均 (名古屋大学)

- \* 青木裕子 (横浜国立大学エコテクノロジー・システム・ラボラトリー) 「マレーシアの地方行財政制度とごみ処理－クアラランブール市とペナン市の比較分析」
- \* 塩谷さやか (早稲田大学アジア太平洋研究科院生) 「マレーシア外交におけるEAEG構想の意義」
- \* 美甘信吾 (ロンドン大学 [SOAS] 政治学部院生) 「フィリピン中央銀行改革の政治過程：1993年新中央銀行法の成立過程を中心に」

## 分科会7 東南アジアの経済

座長 岸 真清 (中央大学)

- \* 奥田英信 (一橋大学経済学部) 「エージェンシー理論によるフィリピン企業の資本構造の検討：企業属性を考慮した製造業企業の負債比率の推計」
- \* 吉野文雄 (拓殖大学) 「スハルト期インドネシアの財政」
- \* 東茂樹 (アジア経済研究所) 「タイの金型産業と競争力の強化——企業間取引関係の視角から」

11月8日 昼 理事会 午後12時10分から午後1時まで

11月8日 (土) 午後の部 記念国際シンポジウム (担当 国分良成)

午後1時～午後5時 一ツ橋記念講堂 (500名)

一般公開です。すべての報告・討論に英語の同時通訳がつかます。

(報告20分×6名、途中休憩15-20分、3時30分から5時まで討論)

タイトル 「2001年9月テロ事件以後、アジアはアメリカをどうみているか？」

\* 2001年9月テロ事件以後、イラク問題、中東問題、北東アジア問題など、世界情勢は大きく変動しつつある。こうした変動の中心にあるのは、いうまでもなく「アメリカ」であり、冷戦体制終焉後の世界でイニシアチブをとっているのもアメリカである。アジア諸国はアメリカをいま、どう見ているのか。一方、アメリカはアジアをどう見ているのか。そして、日本はアメリカとアジアにどのように係わりようとしているのか。日本を含む6カ国から気鋭の研究者を招待して、記念シンポジウムを開催します。

パネリスト

- 1) 日本 五百旗頭真 (神戸大学)
- 2) アメリカ John Ikenberry (Georgetown University)
- 3) マレーシア K.S. Jomo (マラヤ大学)
- 4) パキスタン Mohammad Waseem (Quaed-i-Azam University)
- 5) 韓国 文正仁 (Moon Chung-In, 延世大学)
- 6) 中国 Zha Dao-jiong (人民大学、元新潟国際大学客員教授)

\* 司会 田中明彦 (東京大学東洋文化研究所)

11月8日 (夜) 記念式典、懇親会 (斜め向かいの学生会館本館)

\* アジア政経学会賞 第1回の発表と授賞式 (石井明理事長)

\* 国際シンポジウム参加者の紹介。

◆11月9日 (日)

11月9日 (日) 午前の部 共通論題の研究分科会

\* 4つの分科会とテーマの設定：

\* 午前9時受付開始。午前9時30分～午後12時10分

(報告30分×3名、コメント15分×2名、討論40分)

1) . **アジアの「民主体制」をどうみるか** (担当 広瀬崇子、末廣昭)

\* 韓国、台湾、フィリピン、タイなどでは1980年代後半から90年代初めまでに「民主化運動」が生じた。この民主化運動や市民運動に関する議論はこれまで結構なされているが、民主化運動以降、あるいはアジア通貨危機以後生まれた政治体制をどう捉えたらよいか、じつは明確でない。ラテンアメリカでは「委任民主主義論」が展開されているが、東アジアではどのように考えたらよいか。中国、南アジアなども射程に入れながら議論する。

#### 司会 西村成雄（大阪外国語大学）

- \* 小此木政夫（慶應義塾大学） 韓国の視点から
- \* 佐藤幸人（アジア経済研究所） 台湾の視点から
- \* 白石隆（京都大学） 東南アジアの視点から
- \* コメンテーター 藤原帰一（東京大学法学部） 全般的視点から
- \* コメンテーター 広瀬崇子（専修大学） 南アジアの視点から

#### 2) . 「地域協力」の政治経済学 （担当 末廣昭）

\* 1997年の通貨・金融危機を契機に、アジア地域では日本の積極的な経済復興のための関与もあって、「ASEAN」「ASEAN+3」の枠組みに関心が集まった。その一方、日本、中国、アメリカ、インドなどは独自にASEAN加盟国との経済連携強化の動きを開始し、それとは別に、「ACD」（Asian Cooperation Dialogue）といった新たな枠組みも生じている。このセッションでは、国際通貨・国際金融の安定化、アジア債券市場の共同開発、アジア自由貿易協定（FTA）への取り組み、ASEANの新たな動きについて、政治、経済の双方から接近を試みる。

#### 司会 渡辺利夫（拓殖大学）

- \* 浦田秀次郎（早稲田大学） アジアFTAの現状と展望
- \* 河合正弘（元世界銀行チーフエコノミスト、財務省国際金融担当、現東京大学社会科学研究所） アジア金融・通貨基金の可能性
- \* 清水一史（九州大学） ASEANの経済統合
- \* コメンテーター 須藤季夫（南山大学） ASEANの地域協力の観点から
- \* コメンテーター 伊藤剛（明治大学） 東アジアの安全保障と地域協力の観点から

#### 3) . Innovative East Asia と情報革命 （担当 丸川知雄）

\* 世界銀行は2002年以降、アジア諸国の国際競争力の回復と持続的な発展のひとつの重要な戦略として、資源動員型の発展ではなく、情報通信技術（ICT）を活用し、ネットワーク化する企業のクラスターの形成を重視する「Innovative East Asia」論を展開している。こうした「革新」（イノベーション）をベースとする新たな発展の中心に位置するのが、「IT革命」とアジア諸国にIT産業の発展である。中国、東南アジア諸国、インドのIT革命の実態を紹介しつつ、アジアの経済と産業がどういう方向に向かっているのかを検討する。

#### 司会 丸川知雄（東京大学社会科学研究所）

- \* 大木登志枝（日本総研IT政策研究センター）「アジアにおけるITの経済効果」
- \* 佐々木智弘（アジア経済研究所）「中国の電気通信と政府規制」
- \* 近藤正規（国際基督教大学）「インドのIT」
- \* コメンテーター 橋田坦（東京国際大学）
- \* コメンテーター シュレスト（甲南大学、東京大学先端科学技術研究センター）

#### 4) . アジア農業問題の50年とWTO （担当 田島俊雄）

\* 中国のWTO加盟に伴い、アジア諸国の農業は新たな段階を迎えるに至った。また、日本や中国がASEAN加盟国などと進めている経済連携強化の動きのなかで、政治的摩擦を引き起こしているのが、各国の農業問題である。日本ではコメ問題の「棚上げ」、農業問題に対する慎重な対応論が浮上する一方、中国は「アーリーハーベスト」方式で、できることから農産物貿易の自由化も図っていくという柔軟な提案がなされている。このセッションでは、アジアの経済発展の基本問題である「農業問題の50年」を総括することを意図し、アジアの農業、韓国の農業、中国の農業などをテーマとして取り上げ、同時に東南アジアや南アジアの研究者からコメントを受ける予定である。

#### 司会 田島俊雄（東京大学社会科学研究所）

- \* 倉持和雄（横浜市立大学） 韓国農業50年：農地改革、緑の革命とその後
- \* 菊池真夫（千葉大学） 熱帯アジア稲作農業の50年－緑の革命とその後－
- \* 池上彰英（明治大学） 中国農業25年：改革・開放後における農業問題の転換と農業政策の変動
- \* コメンテーター 岩本純明（東京大学）
- \* コメンテーター 藤田幸一（京都大学）

#### 11月9日（日）昼食・常務理事会

- \* 午後12時10分～午後1時10分

#### 会員総会

- \* 午後1時10分から1時半30分

11月9日（日） 午後の部 大会50周年記念シンポ（担当 古田元夫）

午後1時30分から午後4時

\* アジア政経学会理事長経験者のかたなどに、これまでのアジア研究の回顧、アジア研究の現状、アジア研究の今後について、2名のかたに記念スピーチをお願いする。また、現在のアジア研究の現状と今後のアジア研究の課題について、3名による「パネル・ディスカッション」を企画する。

司会 古田元夫（東京大学）

開会の辞 交渉中

記念講演 2名 20分（最大限30分）

\* 石川滋（一橋大学名誉教授）経済

\* 松本三郎（慶応義塾大学名誉教授）政治

パネル討論 3名

\* 渡辺利夫（拓殖大学）

\* 北原淳（名古屋大学）

\* 天兒慧（早稲田大学）

11月9日（日） 閉会の辞（新理事長挨拶）

---

「アジア政経学会50周年記念大会実行委員会」

東京大学社会科学研究所

末廣 昭

丸川知雄

2002年度アジア政経学会 全国大会のお知らせ

2002年10月26日、27日に神戸大学で開催されました全国大会は、のべ参加者250名、懇親会参加者120名という盛会に終わりました。活発な討議で大会を盛り上げていただいた報告者、討論者、座長および会員各位に、心から感謝申し上げます。

全国大会事務局は解散いたしますが、神戸大学経済学部のHPには、しばらくの間、報告要旨と自由論題のフルペーパーを掲載しておきますので、ご利用ください。なお、2003年度は東京大学が主催校となる予定です。  
<全国大会事務局 神戸大学経済学部 加藤弘之>



「自由論題の会場」



「共通論題の会場」



「会場からの眺め」



「パネルディスカッション」

記

10月26日(土) 受付 9時30分～10時

午前の部 自由論題報告 10時～12時30分

A. 中国現代史―――座長：西村成雄（大阪外国語大学）

- A-1三品英憲（東京都立大学大学院）「戦後内戦期における共産党革命と華北農村社会：五四指示の再検討」
- A-2林 幸司（一橋大学大学院）「中国共産党による重慶の『解放』と地域社会の関係について：1950年前後の公・私部門再編過程から」
- A-3泉谷陽子（中央大学非常勤講師）「中華人民共和国建国初期の国家による物資と労働者の掌握過程：紡織業における大衆運動の展開を中心に」
- A-4川原勝彦（横浜国立大学大学院）「中国国民党大陸統治末期における社会团体整理工作（1945～1949年）：上海市社会局による同郷団体整理工作を中心に」

予定討論者：A-1.2 田中仁（大阪外国語大学）、A-3.4 金丸裕一（立命館アジア太平洋大学）

B. 台湾・香港・大陸―――座長：石田浩（関西大学）

- B-1大坪力基（杏林大学非常勤講師）「台湾の民主化の定着：権威主義体制の残滓の溶解：1998年から2001年までの重要選挙分析を中心に」
- B-2竹内孝之（同志社大学大学院）「一国兩制下における統合：中国大陸・香港を中心に」
- B-3林 賢参（青山学院大学大学院）「建国前夜における毛沢東の対米戦略：黄華・スチュワート会談を中心に」
- B-4劉 平（福岡大学大学院）「中国の株式会社ボードシステムの改革：独立取締役の導入と二重モニタリングシステムの構築を中心に」

予定討論者：B-1.2.3 天児 慧（早稲田大学）、B-4 川井伸一（愛知大学）

C. アジアの企業発展―――座長：南部稔（神戸商科大学）

- C-1Do Manh Hong（桜美林大学大学院）「グローバル化の時代と企業主導型キャッチアップ戦略：ベトナムの経済刷新と企業発展」
- C-2奥田英信（一橋大学）・斉藤純（一橋大学大学院）「フィリピンの企業金融の数量分析：マイクロ・データベースを利用した企業負債比率の推計」
- C-3白井早由里（慶應義塾大学）「インドにおける銀行・資本市場改革の評価」
- C-4白石麻保（京都大学大学院）「中国郷鎮企業民営化推進に関する農村幹部及び企業の目的と合理性：計量的アプローチ」

予定討論者：C-1.2 福井清一（神戸大学）、C-3.4 佐藤隆広（大阪市立大学）

D. 政治と文化-----座長：上原一慶（京都大学）

D-1岡 通太郎（京都大学大学院）「インド『白い革命』の再検討：農村フィールドワークからの実証研究」

D-2北川将之（上智大学大学院）「インドにおける地方レベルの民主化：1990年代パンチャーヤット選挙の実施と州政治の脈絡」

D-3谷川真一（スタンフォード大学大学院）「中国文化大革命期における教育達成のパターンと過程：政治的資源再考」

D-4楊 麗君（一橋大学大学院）「文革期における派閥分化と集団的暴力行為：公民権の配分と獲得競争」

予定討論者：井上恭子（アジア経済研究所）、菱田雅晴（静岡県立大学）

E. アイデンティティとネットワーク-----座長：田中恭子（南山大学）

E-1林 泉忠（琉球大学法文学部）「『辺境東アジア』の概念形成に向けて」

E-2陳 天璽（日本学術振興会特別研究員）「越境する華商たちへの視角」

E-3李 賢映（東京工業大学大学院）「韓国における日本大衆文化開放」

E-4中村 都（追手門学院大学）「シンガポール工業化のイデオロギーと実践：社会政策を中心に」

予定討論者：E-1.2若林正文（東京大学）、E-3.4岩崎育夫（拓殖大学）

昼食 12時30分～14時

午後の部 分科会報告 14時～17時

分科会 1 グローバル化時代のアジアの教育 座長：押川文子（国立民族学博物館）

報告 1：三好 章（愛知大学）「中国教育の現状—『素質教育』を中心に」

報告 2：鳥居 高（明治大学）「マレーシアにおける高等教育改革：マレー人育成から工業化人材育成へ」

報告 3：船津鶴代（アジア経済研究所）「タイの中等普通化と学校改革：そのインパクトに対する試論」

予定討論者：杉本均（京都大学）

分科会 2 開発と地域経済の変化 座長：北原 淳（名古屋大学）

報告 1：佐々木信彰（大阪市立大学）「中国における都市—農村関係の現況」

報告 2：宇佐美好文（大阪府立大学）「経済改革後のインド農村経済変動」

報告 3：中西 徹（東京大学）「都市化：経済発展と社会変容」

予定討論者：田坂敏雄（大阪市立大学）

分科会 3 民族・宗教対立と地域紛争 座長：広瀬崇子（大東文化大学）

報告 1：近藤高史（広島大学大学院）「カシミール問題における政治の『周辺化』：1987～90年の印パ関係・域内政治との関連で」

報告 2：小林朝美（大東文化大学大学院）「中国外交における民族問題—国籍か民族か」

報告 3：川島 緑（上智大学）「南部フィリピン紛争の政治的解決過程：1990年代以降における社会・国家・国際レベルの活動の関連性」

予定討論者：金子芳樹（獨協大学）、小島麗逸（大東文化大学）

分科会 4 日米中関係の30年の総括 座長：丸山伸郎（拓殖大学）

報告 1：湯浅成大（東京女子大）「中米関係の30年」

報告 2：杉田俊明（甲南大学）「日中関係の30年」

報告 3：村田晃嗣（同志社大学）「日米関係における中国」

予定討論者：高木誠一郎（防衛研究所）、服部健治（愛知大学）

分科会 5 Rising China and Regionalism in East Asia 座長：添谷芳秀（慶應義塾大学）

報告 1：杜 進（拓殖大学）「中国経済の現状とFTA」

報告 2：中居良文（アジア経済研究所）「中国の北東アジア地域協力」

報告 3：David Zweig（香港科技大学）「中国の国際化は可能か」

予定討論者：深川由紀子（青山学院大学）

10月27日（日）受付

8時45分～9時15分

共通論題

アジアの発展と地域統合の可能性—アジア共同体を展望する

午前の部 共通論題報告 9時15分～12時 座長：西澤信善（神戸大学）

（趣旨説明） 石原享一（神戸大学）

報告 1：「経済のグローバル化と地域格差」 報告者：池本幸生（東京大学）

報告 2：「資源・環境問題と安全保障」 報告者：浅野 亮（姫路獨協大学）

報告 3：「経済交流の発展と文化摩擦」 報告者：園田茂人（中央大学）

昼食

12時～13時

会員総会 13時～13時20分

午後の部Ⅰ 各分科会座長からの問題提起 13時20分～14時20分

座長：末廣 昭（東京大学）、滝口太郎（東京女子大学）

1. 押川文子（国立民族学博物館）
2. 北原 淳（名古屋大学）
3. 広瀬崇子（大東文化大学）
4. 丸山伸郎（拓殖大学）
5. 添谷芳秀（慶應義塾大学）

質疑応答

午後の部Ⅱ 総合パネル・ディスカッション 14時40分～15時40分

座長：末廣 昭（東京大学）、滝口太郎（東京女子大学）

パネリスト：共通論題報告者・分科会座長全員

総括・閉会の挨拶

石井 明（東京大学）

☆事務局からのお知らせ☆

(1)報告要旨、一部報告のフルペーパーにつきましては、神戸大学経済学部ホームページに掲載し、順次更新してゆく予定です。報告要旨、論文のフルペーパーを参照されたい方は、上記ホームページの学会案内をご覧ください。論文のフルペーパーのダウンロードには、パスワードが必要です。パスワードは、9月上旬までにお手元に郵送される全国大会プログラムに掲載されています。プログラムが郵送されないなどの問題がございましたら、学会総務担当事務局、または下記、全国大会実行委員会事務局までお問い合わせください。なお、プログラムの変更など最新情報も、同ホームページに掲載します。こちらもあわせてご覧ください。

(2)会場へのアクセスと宿泊案内につきましては、神戸大学生協にアクセスしてください。

アジア政経学会全国大会実行委員会事務局  
〒657-8501神戸市灘区六甲台町2-1  
神戸大学経済学部 加藤弘之研究室